



**家をつくるなら**  
 作詞 松山猛 作曲 加藤和彦  
 JASRAC 出0404755-401

**1** 家をつくるなら  
 家をつくるなら  
 草の萌えるにおいのする  
 リビングに暮らしたいと  
 思うのであります

**2** 家をつくるなら  
 家をつくるなら  
 天体観測をする  
 透明な屋根だって  
 欲しいのであります

いえをつくる～なら いえをつくる～なら～  
 くさのもえる

においのする リビングに 暮らしたいと おもうので あります～

**3** 家をつくるなら  
 家をつくるなら  
 小鳥がとびかうし  
 花だって咲いているベッドが  
 欲しいのであります

**4** 家をつくるなら  
 家をつくるなら  
 太陽を盗んできて  
 オープンとランプにして  
 ストープにしてしまおう

○ 表紙メッセージ ○

表紙にのんびりと流れる歌は、1972年（昭和47年）1月から  
 パナホーム（当時のナショナル住宅建材（株））の  
 CMソングで使われたおなじみの「家をつくるなら」です。  
 草花や星空、太陽を感じられる  
 自然いっぱいの暮らしがしたいという願いが伝わってきます。  
 そして、あれから30年あまり  
 「太陽を盗んできて オープンとランプにして ストープにしてしまおう」  
 なんて夢も実現してしまいました。  
 かけがえない自然とともに、心地よく暮らしたい。  
 それは、今も昔も変わらぬみんなの願い——  
 そんな“エコライフ”への願いを美しいハーモニーのようにつなげながら、  
 今後も皆さまにお届けしていきたいとパナホームは考えます。

**パナホーム株式会社**

〒560-8543  
 大阪府豊中市新千里西町1丁目1番4号  
 ホームページ: www.panahome.jp

本報告書の作成に当たっては、製版をCTP (Computer to plate) 化し、製版工程でのポリエステル・アセテートフィルムの使用を全廃しました。これに伴い、フィルム現像時のアルカリ性現像液も不要となりました。



# 会社概要

社名 パナホーム株式会社  
 本社所在地 〒560-8543  
 大阪府豊中市新千里西町1丁目1番4号  
 TEL 06-6834-5111(代)  
 設立 1963年(昭和38年)7月1日  
 決算期 3月31日  
 資本金 283億7,592万3,130円  
 (2004年3月31日現在)  
 売上高 2,567億円  
 従業員数 6,023名(出向者177名を含まない)  
 (2004年3月31日現在)

## 主な事業内容

建物、構築物等およびその部材の製造、販売/建物、構築物等の設計、施工、請負および工事監理/不動産の売買、貸借およびその仲介、代理ならびに管理/不動産の鑑定ならびに不動産活用に関するコンサルティング/地域開発、都市開発および環境整備に関する事業の企画、設計、監理およびコンサルティング/建築資材、家具、家庭用電気製品および照明機器・給排水設備機器・空調設備機器・厨房機器・洗面化粧台・便器等の住宅設備機器の製造、販売および輸出入 他

## 主な営業拠点・工場

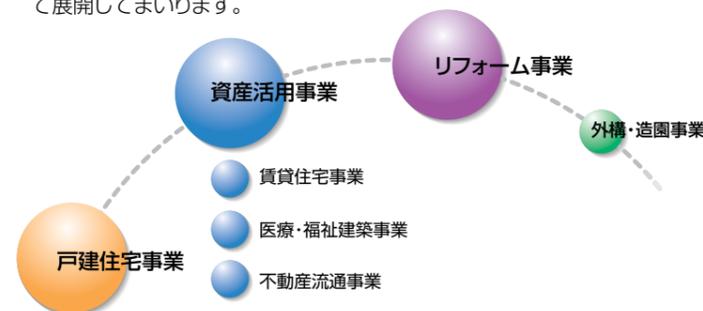
パナホーム(株)：支社・支店42カ所、営業部3カ所、工場4カ所  
 パナホームグループ：パナホーム協業会社18社、E&A設計(株)、ピ・ホーム置工業(株)、(株)パナホームテックオークラ、(株)ナテックス、入江工営(株)、PanaHome NZ LTD.、PanaHome Tech(M) Sdn.Bhd.、パナホーム代理店23社、パナホーム特約店6社、パナホームショップ12社

## 事業上の変化

- 連結子会社3社  
 <(株)パナホーム備後、(株)パナホーム香川、高知パナホーム(株)>を経営統合。  
 <異動年月日：2003年(平成15年)10月1日>
- 事業改革に伴い、33拠点の支社を見直し、支社・支店42拠点に再編成。  
 <異動年月日：2004年(平成16年)4月1日>



パナホームがめざすもの、それは人と地球にやさしい住環境を提供する「エコライフ住宅」です。この考え方を軸に戸建住宅、資産活用、リフォームという3つの事業を核とした「住まいとくらしの総合産業」として展開してまいります。



## ● 戸建住宅事業

家づくりというお客様の大切な夢を実現するために、商品開発から製造、販売、施工、サービスまで一貫した体制を築き、お客様のご要望にトータルかつスピーディに対応します。お住まい後もお客様のライフステージに応じて、住まいやくらしの夢をサポートしていきます。

## ● 資産活用事業

オーナーさまのご要望に的確にお応えする賃貸住宅や都市型併用住宅、地域や社会に貢献する医療・福祉建築、全国ネットワークを生かした不動産流通など、幅広い分野でご提案していきます。



デイケアセンター+デイサービスセンター

## ● リフォーム事業

末長く快適にお住まいいただくために、リフォーム事業を松下グループの総合力を生かし、積極的に推進しています。さらにトータルな視点での外構・造園計画のご提案など、家づくりで培った豊富なノウハウをもとに住まいとくらしをご提案していきます。

あなたと夢を、ごいっしょに。

# PanaHome

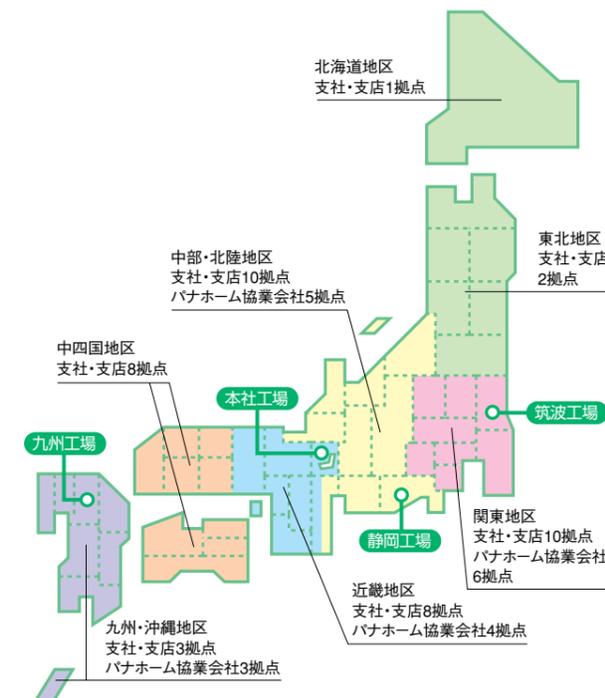
## ブランドマネジメント

パナホームは「あなたと夢をいっしょに」をブランドスローガンに定め、お客さまの夢を一番大切に考える企業を目指しています。社員一人ひとりの行動が、夢と信頼のパナホームブランドを築き上げるということを確認し、松下グループの総合力を生かした「住まいとくらしの総合産業」として、お客さまに、そして地球に貢献していきたいと考えています。



パナホームブランドブック

## 対象範囲



\*上記の各社をはじめ、パナホームグループには、パナホーム代理店、パナホーム特約店、パナホームショップ店などが各地域にあります。

対象組織：パナホーム株式会社、パナホーム協業会社(18社)、株式会社パナホームテックオークラ、PanaHome NZ LTD.、PanaHome Tech(M) Sdn.Bhd.  
 対象期間：2003年度(2003年4月1日～2004年3月31日)  
 対象分野：工業化住宅の製造、販売にかかる業務ならびに都市開発に関する企画および設計業務

# 目次

会社概要	1
トップメッセージ	3
特集「エコライフ住宅」ってなに?	5
地球への心くばり	7
～「エコライフ住宅」にかかわる人たち～	
第三者コメント	11

## 経済性報告

綱領、信条、経営理念	12
事業の概況	13
企業倫理、コンプライアンス、研究開発と新しい取り組み	14

## 環境報告

環境憲章、環境宣言	15
環境マネジメント、環境活動のあゆみ	16
中長期目標、環境会計	17
パナホームの主な環境負荷	18
温室効果ガス、廃棄物の削減	19
有害化学物質の削減	20
パナホーム 住まいの環境配慮図鑑	21
“安全・安心”のために、環境リスクマネジメント	22
サイトデータ	23

## 社会性報告

お客さまとのかかわり	25
地域社会とのかかわり	26
従業員とのかかわり	27
社会貢献活動	29

## 編集方針

本報告書は、環境問題と社会貢献に対するパナホームグループの姿勢と活動をわかりやすくお伝えする目的で作成しています。作成にあたっては、環境省の「環境報告書ガイドライン(2003年度版)」とGRI(Global Reporting Initiative)の「持続可能性報告のガイドライン(2002年版)」を参考にまとめています。今回からよりサステナビリティを意識し、GRIの提唱するトリプルボトムラインである「環境」「経済」「社会」の3項目構成としました。

## お問い合わせ先

発行責任者:経営システム部部长 中村 裕  
 担当:経営システム部 西島、佐々木、山田  
 TEL 06-6834-4461  
 FAX 06-6834-2670  
 E-mail kankyo@info.panahome.co.jp  
 HP www.panahome.jp  
 次回発行は2005年6月を予定しています。

## トップメッセージ

# 人と地球にやさしい 住まいづくりと 企業活動を



パナホーム株式会社  
代表取締役社長

田尻勝彦

## 40周年の節目に生まれた「エコライフ住宅」

昨年2003年はパナホームは創業40周年という節目を迎え、「40周年ありがとう訪問」として、全社員がパナホームにお住まいいただいている24万棟すべてのお施主さまを訪問しました。このことで、松下創業の心である“お客さま第一”の精神を今一度、全社員で共有することができました。また、40年の歴史の中で培ってきた“安全・安心”“健康・快適”の技術に“創エネ・省エネ”を加え、新しいパナホームの強みとして「エコライフ住宅」をコンセプトにした商品を発売しました。

住宅は昔も今も他の工業製品と比較して、生産・建設時に大量の資源を使います。また、居住期間や建物のライフサイクルにおいても多くのエネルギーを消費します。こうして大量の資源とエネルギーが投入される住宅ですが、わが国においては住宅の寿命は欧米諸国と比較してもかなり短く、また取り壊し時には大量の廃棄物が発生します。こういった問題を少しずつでも解決していくことが、私たち住宅会社としてのまず一番の企業の社会的責任(CSR:Corporate Social Responsibility)であると認識しています。

お客さまに長くお住まいいただけ、住まう間もエネルギー負荷の少ない住宅—そんな「人と地球にやさしい暮らし」を実現できるのが、パナホームの考える「エコライフ住宅」です。長く住まうことで廃棄物の発生を減らし、“創エネ・省エネ”のできる家が増えれば、地球温暖化の抑制につながります。心地よい暮らしが地球環境を守ることにもつながる…そんな住宅づくりがもう始まっています。

## 事業の根幹に技術と自然との調和がある

私たちの住まいづくりの根幹には、もともと技術と自然との調和がないと成り立たないという考えがあります。それができてこそ「人と地球にやさしい住まい」が実現できます。

さて、地球環境について思いを巡らすと、困難な課題が山積しています。四季の移り変わりが織りなす美しい自然に恵まれた日本ですが、今ではあちこちで豊かな自然が取り壊され、悲鳴をあげているように感じます。私たちの先祖は、自然とともにくらし学ぶ生活を何百年と続けてきました。それがここ50年ほどの間にすっかり大量生産・大量消費型のくらしが当たり前となり、自



然に学んだ先人の知恵を私たちは手放そうとしているのではないのでしょうか。生活の真のクオリティを上げるには、モノを大切に長く使い、ゆったりしたくらしや自然とともに過ごすことが大切だということに、多くの人が気づき始めました。

環境に負荷をできるだけ与えないで、自然を楽しむくらしを望まれる方が増えています。そんなご家族の夢を実現できる住まいづくりを願い、生まれたのが「エコライフ住宅」です。家族が毎日過ごす家こそ、地球環境にやさしい家でありたい—パナホームはエコロジーの考え方を一歩進め見つけ直してみました。

パナホームではこれまで、高耐久・長寿命な鉄骨構造で“安心・安全”をお届けするとともに、長くお住まいいただくことで廃棄物等の抑制に努めています。また調湿機能を持った建材やVOC対策により、住まわれる方の“健康・快適”を高めています。これらをベースにさらに、エネルギー削減に配慮した設備機器、自然エネルギーを使った“創エネ・省エネ”でCO<sub>2</sub>削減に貢献していきます。

## 松下グループの一員として社会・地域にどう貢献していくか

企業の社会的責任(CSR)を考えるとときに、環境問題とともに重要なのが、しっかりと健全な経営を維持しつつ、かつ社会・地域に対して企業がどう貢献していくかです。松下グループの住宅会社として「住まいづくり」を通じお客さまに「安心と満足」をお届けすることこそ、経営ビジョンである「お客さま第一主義」の実践であり、信頼度を高めることにつながると考えます。お客さま、そして社会や地域の皆さまとしっかり向き合って、いつも「安心と満足」をご提供できる企業でありたい。さらに、社会のお役に立ち、社会的責任の遂行や社会貢献活動も同じように当たり前に行える会社でありたい。そういった継続的で地道な努力こそ、お客さまや社会から信頼される基本条件であると理解しています。今後も引き続き、地域とともに共生するパナホームであることが、私たちの根幹であるということを常に肝に銘じ、事業活動を遂行していきます。

今後のパナホームに期待していただくのと同時に、この「エコライフレポート2004」をお読みいただいて、ご忌憚のないご意見をいただければ幸いです。

# 特集

## 「エコライフ住宅」ってなに？

### 「エコライフ住宅」とは？

時代が移り変わる中、住まいに求められるニーズや性能も少しずつ変化してきました。ただ昔も今も変わらないのは、毎日を“安心・安全”に過ごし、より“健康・快適”に暮らしたいという願いです。一方で、大きく変化したのは日々のくらしが便利になるにつれ、多くの資源やエネルギーが消費されるようになったことです。

パナホームは地球環境のことを考えながら、地震に強い鉄骨構造をベースに自然の力を生かし、より確かな居住環境をお届けしています。さらに松下グループの総合力を存分に発揮し、パナホームに住むことが人と地球にやさしくらしになっていく…そんな「エコライフ住宅」を目指しています。

「エコライフ住宅」の考えに基づき、戸建住宅の「エルソーラー」、積雪寒冷地向けの「エルイデオ・ネージュ」、都市型3階建アーバンエコライフの「ソルビオス・EL」などを発売しています。今後は、集合住宅のエコライフ仕様「フラッツア テスタ」を投入し、フルラインアップで対応していきます。



エルソーラー・キラテック



エルソーラー



エルイデオ・ネージュ



フラッツア テスタ

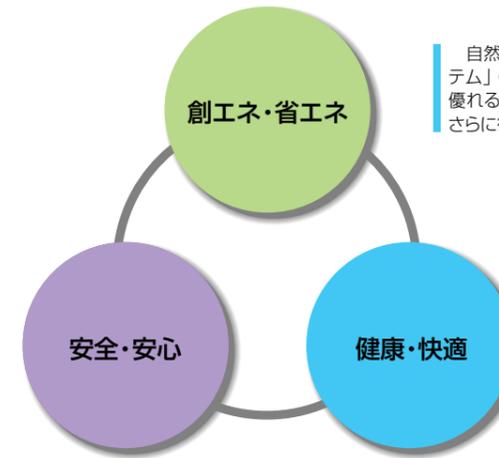


ソルビオス・EL



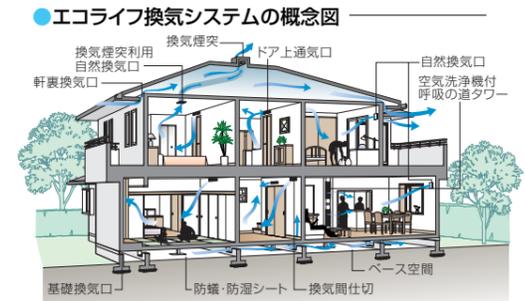
ソーラー発電システム\*1

断熱性能に優れた次世代省エネルギー基準仕様\*2や、エネルギーの使用削減に配慮した設備機器、また自然の力を利用した「創エネ・省エネ」に積極的に取り組んでいます。これは地球温暖化を防止するCO<sub>2</sub>の削減や、日々の光熱費の削減にもつながり、エコロジーとエコノミーの両立を可能にしています。



くり返し起きる可能性がある巨大地震にも強い高耐久なパナホームの構造は、大規模な補修やメンテナンスの手間や費用をかけず永きに渡りお住まいいただけます。また、長寿命な住宅は地球環境問題の視点からも解体廃棄物の発生を抑制できます。さらに防犯やユニバーサルデザイン\*4思想による“安全・安心”にも配慮しています。

自然の力と技術を調和させる省エネ換気を実現した「エコライフ換気システム」(風の道・呼吸の道)と一般の珪藻土に比べて孔の数が多く吸放湿性に優れる椎内珪藻土\*3の「調湿建材」を採用し、快適な空気環境を保ちます。さらに徹底したVOC対策により、住む人と住まいの“健康・快適”を高めます。



実大耐震実験(震動中)

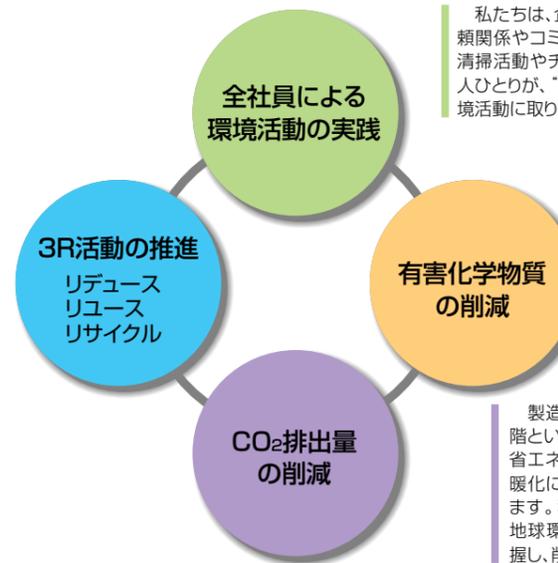
### 事業活動の“エコライフ”

人と地球にやさしい“エコライフ”。それは私たちがお届けする「エコライフ住宅」の考え方であるだけでなく、パナホームの住まいづくりのあり方を示すものでもあります。技術研究・商品企画から生産・施工、そしてアフターサービスまでの事業活動のあらゆる場面において、環境負荷の低減に取り組んでまいります。このような活動の積み重ねにより、誰からも「パナホームといえば『エコライフ住宅』」と言っていただける、エコライフ企業を目指します。

住宅部材の設計段階から建設現場まで、リデュース・リユース・リサイクルを意識した3R活動を展開しています。2002年度には、すべての生産工場でゼロエミッションを達成。建設現場においても、2005年度には全新築現場での達成をめざし推進中です。



分別勉強会



私たちは、企業の社会的責任として地域の皆さまとの信頼関係やコミュニケーションアップのため、事業場周辺の清掃活動やチャリティーにも取り組んでいます。社員の一人ひとりが、“エコライフ住宅”をお届けしている立場で、環境活動に取り組んでいきます。

材料調達～設計段階の有害化学物質の徹底チェックや、製造段階における排出・移動量の把握を行い、有害化学物質の削減にも取り組んでいます。

防蟻・防湿シート\*5

製造・建設現場や事務所、また輸送段階といった全事業場において、省資源や省エネルギーを意識することは、地球温暖化につながるCO<sub>2</sub>の発生を抑制できます。私たちの事業活動が、どのくらい地球環境に負荷をかけているのかを把握し、削減に取り組んでいます。

モーダルシフト(P.10参照)

#### ECOワード解説

##### \*1 ソーラー発電システム

外観を損なうことなく、屋根に取り付けた高効率な太陽電池モジュールが、太陽エネルギーを電気に変えて、家庭用の電化製品の動力として活用するシステム。発電して余った電気は電力会社へ売ることができる。

##### \*2 次世代省エネルギー基準仕様

1999年に制定された住宅の断熱性能に関する最高レベルの基準。これに適合した住宅は、冷暖房のランニングコストの削減など数々のメリットが得られるとともに、公庫割増融資の対象となる。

##### \*3 椎内珪藻土

海中の植物性プランクトン(珪藻類)が何百万年もの歳月をかけて、堆積・化石化した鉱物の一種です。とても小さな孔が無数に空いているため、大量の湿気を吸放出してくれ、すぐれた調湿性能を持ちます。除湿器や加湿器のようにエネルギーも使わず、その効果は半永久的です。



##### \*4 ユニバーサルデザイン

できるだけ多くの人々が利用可能であるように製品、建物、空間をデザインすること。また加齢による身体機能の衰えや妊娠やケガなどの一時的な身体機能の低下、身長、体型などの個人差を考慮した誰にでも使いやすいデザインのこと。

##### \*5 防蟻・防湿シート

安全性を追求した薬剤を土壌に散布することなく樹脂シートに練り込み、シロアリが接触した時のみ効果を発揮。同時に地面からの湿気を防ぐ。

# 地球への心くばり

## ～「エコライフ住宅」にかかわる人たち～

パナホームでは「エコライフ住宅」の製造・販売を通じて、地球環境の保全に貢献したいと考えています。「エコライフ住宅」を通じて、お客さまをはじめ、さまざまなステークホルダーがつながっています。みんなの思いが繋がる「エコライフ住宅」、そこにまつわる声を集めてみました。そこには、いきいきとしたエコライフのハーモニーが奏でられているようです。



お客さま

愛知県・Nさまご夫妻

子供さんや愛犬も大満足の「エコライフ住宅」。「エコナビット」で発電量を確認するのが楽しみです。

「エコライフ住宅」でNさまのこだわりが実現されたのが何よりうれしいです。



営業

岡崎支店  
上村 伸二

### お客さまとの信頼関係の構築

今回、Nさま邸の新築計画においてご夫妻が重視されたことは、5kWhのソーラー発電システムと熱効率のよい住宅ということです。ご新居で生活をいざ始められて、毎月の発電量を楽しみにご確認されているというお話をうかがって、私事のようにワクワクしてしまいました。今後、ご家族の「エコライフ」がどう展開していくのか楽しみです。

まずはお客さまとの良好な人間関係を第一に心がけています。



営業

岡崎支店  
西野 隆敏

地球にやさしい住まいづくりの研究に今後も取り組んでいきます。



技術研究

住宅研究所  
エコライフ住宅研究室  
中川 浩

### 「エコ住宅」ではなく「エコライフ住宅」な訳

「エコライフ住宅宣言」を受けて、住宅研究所では全員をチーム分けし、「エコライフ住宅」コンペを実施しました。いろいろな専門を持つ者が知恵を出し合う中、どのチームからもレベルの高い提案が出てきました。そこで、この活動をさらに高め、次なる「エコライフ住宅」はどうあるべきかを企画するグループとして、新たに「エコライフ住宅研究室」が新設されました。

人と暮らし、住まいと地球をよりトータルに研究する意義を担うことになり、多少戸惑いのようなものもありました。しかし企画の検討を重ねるうち、単にエコロジーとエコノミーな「エコ住宅」ではなく、住まう人へのより快適な生活提案も含めた、私たちの考える「エコライフ住宅」に必要とされるものが徐々にわかってきました。我々の企画したものが、商品に取り込まれ、お客さまに喜んでいただけるようこれまで以上にがんばっていきます。

### 将来を見据えた賢い住まい

この家が私たちに「<sup>ついで</sup>終の棲家」になると考え、老後のことまで思い巡らせると、とにかく光熱費も含めランニングコストを抑えた家にと「エコライフ住宅」を選びました。こだわりは、ソーラー発電システムをたくさん載せ、日々の光熱費を削減することでした。また「<sup>エル</sup>ELタイル」外壁は、質感が気に入ったのと、塗り替えの手間やコストが不要というメリットがあったからです。「エコライフ住宅」であれば、これから年を重ね不安定な年金での生活も、少しは安心に過ごせると考えました。

Column

#### エルELタイル

焼き物であるため耐候性に優れ、高温多湿な日本の気候や紫外線にも耐え、ほとんど経年変化せず、自然な質感と色調は時とともにその味わいを深めます。



Column

#### 環境家計簿でエコノミー&エコロジー

環境家計簿とは、光熱費や水道など毎月の使用量・排出量に一定の係数をかけ、排出されるCO<sub>2</sub>を換算するもの。この10年間、一般家庭から排出されるCO<sub>2</sub>の量は増え続けています。まずわが家からCO<sub>2</sub>量を1～2割減らしましょう。このエコライフレポートアンケート裏面の環境家計簿をご活用ください。



発電モニタ「エコナビット」



うれしくて思わず、発電量と消費電力量の表をつけてみたと言われるNさま

#### 「わが家はきょうも発電日和!」

発電量が表示されるモニタを毎日確認するのが、今やわが家の日課です。家族で交わす会話も「今日は洗濯日和」が「今日は発電日和だね!」と変わりました。子供たちもリアルタイムで電力使用量がわかるので、お手伝いを率先してやるようになったり、モノを大切に使うなどエコロジー教育にもなっています。

またひと冬を過ごしましたが、とにかく暖かく暖房の使用も抑えることができ、高断熱・高气密を実感しました。このように特別なことなしに、人と地球にやさしい暮らしができています。

Column

#### ディスプレイハウス

等身大のパナホームの「くらし」を体感できる建売現場等を活用した売却型の展示場。一定期間後、販売されることから取り壊し・建て替えに伴う廃棄物の発生等、資源のムダが発生しません。2004年3月末現在、全国各地で40棟のディスプレイハウスがオープン。



### 今、なぜ「エコライフ住宅」か?

「環境の世紀」といわれる21世紀、社会のニーズとして地球環境への関心、特に「創エネ・省エネ」への高まりを感じていました。2003年の夏は国内でも電力危機が問題になりましたね。松下グループの総合力・技術力が生かせる住宅会社として、できることはないかと考えていました。またパナホームが従来からこだわってきた、耐震性に優れ末長く住み継がれる「安全・安心」や、自然の力を生かした「健康・快適」をこれまで以上にパワーアップさせ、「人と地球にやさしい家づくり」を進めた結果、生まれたのが「エコライフ住宅」の第一弾「エルソーラー」です。住宅の外観を損ねたり、お客さまに特別に何かしていただくというようなことでなく、エコロジー&エコノミーが両立し、自然に「エコライフ」が送れるような住まいをご提供するため様々な工夫をこらしています。これを機に、メンバーもあらゆる業務を「エコライフ」という視点で捉えるようになり、光触媒技術の採用など今までにない発想でいろいろな企画も生まれています。今後の「エコライフ住宅」にご期待ください。

松下グループの強みを生かし、さらに「エコライフ住宅」を進めていきます。



商品開発

戸建住宅事業部  
商品企画グループ  
詫間 伸

わかりやすい  
ご提案を  
心がけています。

営業設計



お客様の夢を  
「エコライフ住宅」で実現!

「いい家」づくりの基本は間取りです。お客さまに、今お困りのことやご要望をお聞きしながら、目の前でプランニングを行うことを基本としています。その際、設計者としてのご提案も加え、お客さまの夢の実現をご提案しています。お打合せの中で、「エコライフ住宅」のコンセプト、特に構造を中心としたハード面や技術の強みとソーラー発電システムなどのエコロジー&エコノミーのお話をさせて頂きます。さらに百聞は一見にしかず、情報館や展示場を活用し、CAD&CGシステム「アクシス」による具体的な3次元の空間提案で、外観イメージや空間イメージをご覧頂いています。お客さまオリジナルの「エコライフ住宅」の完成イメージをご確認頂くようにしており、よくわかると大変好評です。

Column

FSC森林認証

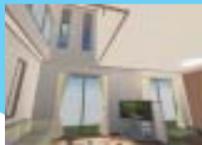
環境保護団体FSC (Forest Stewardship Council: 森林管理協議会、本部メキシコ)の森林認証は、世界的な森林減少・劣化の問題と、グリーン消費マニフェストの高まりを背景として生まれた「適正な森林管理」を認証する制度。



Column

パナホームグループ  
CADシステム「アクシス」

アクシス=ACSYSとは、A: Architecture (建築) C: Consistent CAD&CG (一貫したCAD&CG) SYS: Systemの略。パナホームグループの基幹CADシステムで、プレゼンテーションから設計、見積りまで一貫運用できます。CADとは、コンピュータを用いた図面作成支援システム。



自然のふんだんな  
琵琶湖を守るために、  
今後も取り組みを  
進めます。

地域の信頼に応える「エコライフ工場」

本社工場では、近畿の水がめとも言われている琵琶湖を控えた立地条件から、水と自然を大切に、地域社会に密着した環境改善活動に全社員一丸となり取り組んできました。地域社会や琵琶湖を守る活動として、排水を定量にするための調整池に24時間監視システムを設置、さらに緊急事態の訓練を定期的に行い監視システムの継続的改善を進めることで、万一基準値を超した場合も社外へ流出することのないよう努めています。2004年1月から淡海工コファスター事業に登録し、周辺道路の美化活動にも取り組んでいます。このような活動の成果としてエネルギー管理優良工場の資源エネルギー庁長官賞を受賞できました。今後も「エコライフ工場」として、社会から信頼される工場を目指します。



今後も継続して  
資源を大切に  
していきます。

資材調達



10年も前から「エコライフ」を追求

パナホームは環境保護の観点から他の種類の松に比べて成長が早いニュージーランドのラジアータパイン (FSC認証森林から伐採) や、マレーシアで廃棄処分されていたゴムの樹液採取後のラバーウッドを独自の技術で集成材に再生し、地球の資源保護に取り組んでいます。ニュージーランド工場の設立は1993年、マレーシア工場は1995年です。パナホームは10年以上も前から「エコライフ」を目指していたのだと実感しています。私の入社も東南アジアのラワン材の乱伐が大問題になっていた1993年で、海外工場とのかかわりは入社以来続いています。今後も、良質なエコライフ木材の活用を推進し、地球環境保護に情熱を傾けていきたいと思っています。

Column

持続可能な木材生産の基地

PanaHome New Zealand Ltd.は、ラジアータパインを活用した木質建材を製造する工場としてニュージーランドに設立されました。人工林のラジアータパインはニュージーランドの温暖な気候と、豊かな風土とが合い成長が早く、30年ほどで成木伐採が可能です。この成長の早さと管理された伐採、植林のサイクルが持続的再生産を可能とし、生産から出荷、廃棄まで全工程で森林資源を活用しています。材を生かす創意工夫が、人を生かし、さらに環境にも配慮した生産活動となっています。



品質にこだわる  
姿勢をつらぬく  
ニュージーランド  
工場

建設現場の  
ゼロエミッション化に  
向けて省梱包化を  
推進しています。

製造



省資源による家づくりのために

省梱包プロジェクトの活動として工場生産部材の省梱包を推進しています。省梱包の目的は、建設現場のゼロエミッション支援、お客さまに安心していただける建設現場です。建設現場におけるゴミの削減に対して、工場に求められる活動は何かを考え、垣根を越えた改善活動を積極的に展開していきたいと考えています。省梱包化は、ただ単に梱包をなくせばよいというものではありません。大切な部材を守るという機能性を高めつつ、効率的にリユースできる梱包材の開発など、知恵を絞らなければなりません。推進にあたっては、営業や建設の担当者とも熱心に意見交換し、絶ゆまめ改善を重ねていきたいと考えています。

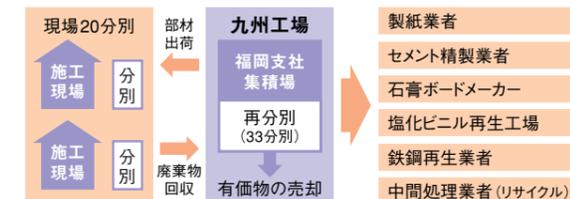


長尺部材梱包材の再利用

きめ細かな分別と  
確認でゼロエミ達成

福岡支社では2003年4月から本格的に活動を始め、「支社ゼロエミッション達成No.1」を目標としてきました。すでに達成された九州工場のルートを基に取り組みを始めました。活動当初は施工業者の反発もあり、分別の重要性や理解も得られませんでした。しかし「ゼロエミの成否は分別にあり」の信念のもと、現場での20分別、モラル向上のための勉強会を行うなど、意識改革の徹底を図りました。毎週、工事担当者と施工業者で回収物を確認し、それは分別間違い等がないか18回にもわたるものでした。結果、施工チェーン会で会員同士が互いに分別内容の確認をする環境ができ、飛躍的に分別精度が向上し間違った分別は激減しました。今後も分別・削減活動の一層の取り組みをグループ全体で推進します。

●福岡支社における建設廃棄物のゼロエミッション化イメージ図



部材出荷便の帰り便を利用した収集 (収集運搬許可取得業者)

輸送形態の変革で  
「エコライフ住宅」を後押し

トラック輸送に対する法律が定められ、先々のNOx・PM法への対応も含め、地球環境に配慮した輸送形態の変革に着手しました。第一に取り組んだ内容は規制に適合した車輛の導入です。次にモーダルシフト(海陸一貫輸送)への移行を始めました。モーダルシフト実現のため、まず情報収集を行い、運送業者との便数、発着時間、ルート等の検討とシミュレーションを実施しました。業者の選定をはじめ、物量の安定や緊急品の対応など苦労を重ねましたが、ついにモーダルシフト化を実現。九州・筑波間のCO2排出量を89%削減することが可能となりました。運送業者さんの理解がなければ、実現できなかったこの取り組み。パナホームが一丸となり「エコライフ住宅」を推進するひとつの足がかりになりました。

「エコライフ住宅」  
No.1を推進する上でも、  
エコ物流に  
こだわっていきます。

物流

Column

モーダルシフト

モーダルシフトとは、トラックによる幹線貨物輸送を大量輸送が可能な海運輸送や鉄道輸送に転換すること。海上輸送の大きなメリットは、長距離の一括大量輸送による効率化などですが、モーダルシフト推進には、それだけの貨物量の確保、トラックなどへの積み替えなど、きめ細やかな検討が不可欠です。



Column

九州工場  
九州物流グループ  
山田 竜二



Column

ゼロエミッション

ゼロエミッションとは、生産工場やオフィスでの事業活動から排出される廃棄物を、自社または他の企業で別の原材料や熱源として再活用し、産業界全体として廃棄物をゼロにすること。このことで、循環型産業システムを目指そうとする構想。

\*パナホームのゼロエミッションはP.19参照

意識改革が徹底し、  
廃棄物の量は大幅に  
減りました。

施工



現場分別状況

## 自信をもっておすすめする「エコライフリフォーム」

リフォーム事業部では「エコライフリフォーム」をテーマに、さまざまな商材を開発・採用しています。「エコかべくん」は、ホルムアルデヒドやイヤな臭いも吸着・低減する健康・快適な調湿塗壁仕上材。調湿性能が一般珪藻土と比べ3倍以上もある「珪内珪藻土」を使用しています。クロスの上などから手軽に施工でき、廃棄物を出さないのも魅力です。「EL<sup>エスエル</sup>タイル天然彩色」は、防汚性が優れた軽量外装タイルで、再塗装などの大がかりなメンテナンスが不要です。そして、「エコライフ住宅」の代表格ソーラー発電システムは、地球温暖化防止に貢献し、発電に化石燃料を使いません。非常に薄く屋根と一体感のあるデザインで周辺環境にも美しく調和します。これらは自信を持っておすすめできる「エコライフリフォーム」の3本柱です。

リフォームにも「エコライフ」をご提案しています。



リフォーム



リフォーム事業部  
営業推進グループ  
鎌田 彩子



ソーラー発電システム



ELタイル天然彩色



エコかべくん

### Column

#### グループ全体で取り組んだ「創業40周年ありがとう訪問」

創業40周年を迎えることができたのは、パナホームをお建てくださったお客さまのおかげであることを全社員が認識し、普段、お客さまとの接点の少ない本社スタッフも含めた社員全員が、直接全国のお客さま(約24万軒)を訪問し、感謝の気持ちをお伝えしました。「お客さま満足」がいかに重要なものか、改めて認識でき、得るものも非常に多かった活動となりました。

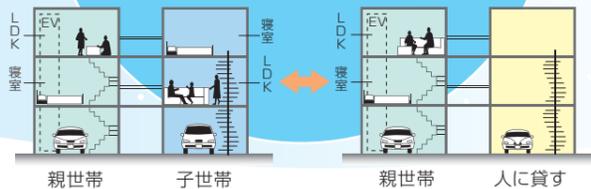


### Column

#### コンバージョン思想

既存建物の用途を換えることにより建物を有効活用すること。家族構成やライフステージの変化に合わせたリフォームやコンバージョンを行い、建物を壊してしまうことなく、長期的に使おうという発想です。住まいの資産価値も高く保ち続けることができると同時に、建替えによる建設廃棄物の発生も抑えることができ、循環型社会の構築にも貢献します。

#### ●ソルピオス コアによるコンバージョン(用途転換)の例



### 第三者コメント



財団法人建材試験センター  
ISO審査本部 審査部長  
内田 晴久 さま

人間と地球にやさしい企業として、常に快適性を追求しながら、各工場ではISO14001に従った環境マネジメントシステムが効果的に運用されています。社会のニーズでもある廃棄物問題については各工場および新築工事において、これを究極的に解決するためにゼロエミッション活動が順法性の確保とともに有効に実施されています。工場においてはレベル1、レベル2の活動も行われています。

企業の評価の物差しは現在、利益追求型から企業の社会的責任へと移りつつあります。

さらに社会のニーズとして、ホルムアルデヒドなど有害化学物質の削減については、環境目標を達成することで削減が計画的に実施され、住宅の快適性を確保しています。

顧客が願望する「癒し」を実現するためには、上流の営業活動、環境配慮設計、構成材の製造、施工そしてリサイクルまで組織のすべての分野の結集が必要であることは言うまでもありません。



NPO法人大阪環境  
カウンセラー協会副理事長  
大阪環境ネット 副代表幹事  
宇田 吉明 さま

2004年版は内容もさらに充実し、名称も「エコライフレポート」と進化し、環境経営が大きく進展していることを高く評価します。直接影響である事業所活動では、昨年のゼロエミッション工場達成をベースに、本社工場で資源エネルギー庁長官賞、筑波工場で茨城県リサイクル優良事業所の認定を受けるなど環境負荷低減に成果を上げています。一方、間接影響である製品については、自然エネルギー(ソーラー発電など)採用住宅供給率を2005年度は2003年度実績の約5倍の50%以上にするなど環境によい製品の比率を大幅に増やす目標を掲げて、意欲的に取り組んでいます。エコライフ=エコノミーを実現する「エコライフ住宅」は、心の満足と財布(家計)の満足を同時に実現するため、地球温暖化防止対策として極めて重要な役割を持っており、さらに「売り手よし、買い手よし、世間よし」で経済と環境を両立させるためにも、今後も環境経営にこだわり、「エコライフ」を広める担い手になっていただきたいと思います。

# 経済性報告

### 綱領

産業人たるの本分に徹し 社会生活の改善と向上を図り  
世界文化の進展に寄与せんことを期す

### 信条

向上発展は各員の和親協力を得るに非ざれば得難し  
各員至誠を旨とし一致団結 社務に服すること

### 遵奉すべき精神

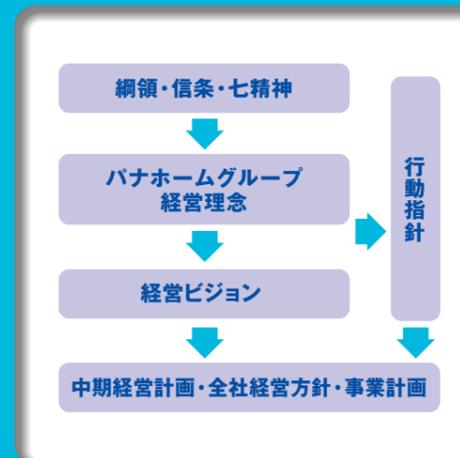
- 一.産業報国の精神
- 一.公明正大の精神
- 一.和親一致の精神
- 一.力闘向上の精神
- 一.礼節謙讓の精神
- 一.順応同化の精神
- 一.感謝報恩の精神

### パナホームグループの経営理念

ふれ愛・健康・人づくりを基本に  
「新・くらし文化の創造」を経営の原点と定め  
豊かな感性とくらしの知恵で 新しい文化と環境価値を創出し  
生活者に生涯満足を贈ることを期するものである

### 経営ビジョン

お客さま第一を実践し  
「家をつくるならパナホーム」  
といわれる信頼度No.1の企業を目指す



# 事業の概況

当社はお客さまからのご要望に幅広くお応えできる「住まいとくらしの総合産業」を目指し、主力の戸建住宅事業、資産活用事業、リフォーム事業の基盤強化に全社一丸となって取り組んでいます。

## 全社経営方針

松下グループの一員として、より健康で快適なくらしの実現を目指して、住宅一筋の事業展開を行ってきました。これからも松下のブランドを大切に、「お客さま第一」を基本姿勢として経営にあたってまいります。そして、安心とご満足をお届けできる企業として「家をつくるならパナホーム」と言われる信頼度No.1の企業を目指します。

## コーポレートガバナンス

当社では、変化の激しい事業環境に迅速かつ的確に対応できる体制を構築するために、2002年6月に執行役員制度を導入し、取締役の人数を半減するとともに、取締役の任期を1年としました。また、経営リスク管理委員会を設置して、お客さまのご満足を大前提に重要な経営リスクを未然に防止する体制を構築しました。

なお、2003年8月に企業倫理ホットラインを設置し、コンプライアンスの推進を図っています。

## 中長期的な会社の経営戦略

戸建住宅事業・資産活用事業・リフォーム事業を事業の柱と位置づけ、事業基盤の強化を図るとともに社内の仕組みや業務の内容を見直すなど一層の効率化を進め、住まいとくらしに関するお客さまからのご要望に、幅広くお応えすることができる「住まいとくらしの総合産業」を目指していきます。

また、すでに取り組んでいる「エコライフ住宅」の提供や、事業活動に伴う環境負荷の低減活動に全社を挙げて取り組み、お客さまや社会に貢献していきます。

さらに、当社は2004年4月1日より、松下電器産業株式会社の連結子会社として事業を展開していくこととなりました。今後は従来にも増して、松下グループにふさわしい住宅会社として躍進することが強く求められていることを再認識し、お客さまにとってより快適で安全、環境にもやさしい「生活快適ソリューション」を推進します。

# 企業倫理、コンプライアンス

社会から信頼される企業であるために、当社では企業倫理、法令の順守（コンプライアンス）の推進に力を入れています。また、情報管理も徹底し、大切なお客さま情報など個人情報をお守りします。

## 社員の行動規範

社会から信頼される会社をつくるには、一人ひとりが能力を最大限に発揮し、組織連携して成果を上げることが重要です。社員が自分の行動を見つめ直し、意欲を持って仕事に向き合う契機となるよう、パナホームでは独自の行動規範を記した冊子を社員全員に配布しています。



社員向け冊子「私たちの行動指針」

## 「企業倫理ホットライン」を設置

コンプライアンス（法令・企業倫理の順守）を推進するため「企業倫理ホットライン」を設置しました。これは業務上の法令違反や、社会から非難を受ける行為を察知した時、組織を越えて相談できるものです。



企業倫理ホットライン画面

## リスク対応に関する企業姿勢

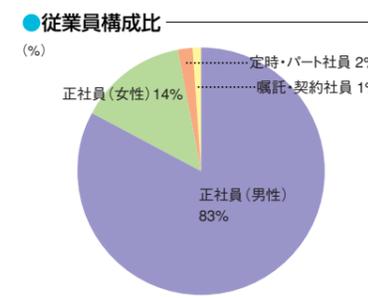
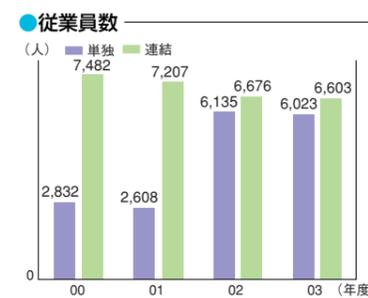
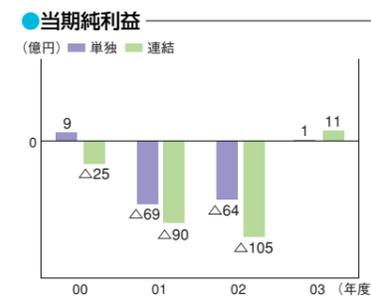
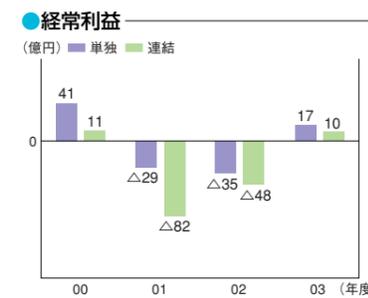
企業リスク回避の根本は、社会正義と順法の精神に立脚した正しい企業活動を行うことです。不測の事態が発生した時こそ、的確なコミュニケーションが求められます。パナホームグループは「危機管理マニュアル」を作成し、リスクが発生した際、迅速に対応できるよう手順を明確にしました。



危機管理マニュアル

## 情報セキュリティ管理

パナホームグループでは、情報セキュリティ行動指針に基づき情報の管理を徹底しています。情報資産を守ることに加え、お客さまやパナホームグループ会社に損害を与えるような行為を未然に防止し、お客さま情報、個人情報などの取り扱い・管理を徹底するため、個人情報保護規程を整備しています。



●2004年3月末現在の権利件数 (件)

	登録	出願数
特許権	436	655
実用新案権	43	0
意匠権	97	5
計	576	660

# 研究開発と新しい取り組み

当社では、社内から積極的に提案ができるような体制を整え、社員の声を生かし、時代の要請に応えたさまざまな新商品が生まれています。また、新しい取り組みとして、介護事業者向けにファイナンスプログラムシステムをスタートしました。

## “エコライフ住宅・事業活動”の提案を社内募集

「パナホーム・エコライフ住宅宣言」を受けて、グループの全社員を対象に提案を募集し、2カ月間で約1,800件の提案が集まりました。現在これらの提案を実現・実践していくために、関係部門が連携して取り組みを始めています。

## 「ソルビオス コア」がグッドデザイン賞受賞

都市型3階建の分離同居型二世帯住宅「ソルビオス コア」が、(財)日本産業デザイン振興会が主催する「2003年度グッドデザイン賞」を受賞しました。コンバージョン思想\*を取り入れた、商品コンセプトとデザインが高く評価されました。(\*コンバージョン思想については、P.11のコラムをご覧ください)



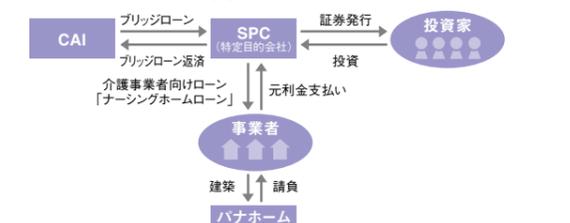
ソルビオス コア

## 医療・福祉建築事業（エイジングライフ）の取り組み

介護型有料老人ホーム運営事業者と提携し、新たな事業提案メニューを拡充。また、介護関連施設に特化したローン債権を証券化する「ナーシングホームローン」を業界に先駆け構築し、安定的な資金調達を選択肢をお客さまに提供しました。さらに、グループホームやデイサービスセンターなどの介護保険施設を複合的に設計提案できる「ケアビレッジ」を発売。要介護高齢者のニーズへの対応、運営事業者の安定経営や土地所有者の安定利回りに貢献していきます。



## ●ナーシングホームローンのしくみ



# 環境報告

# 環境マネジメント、環境活動のあゆみ

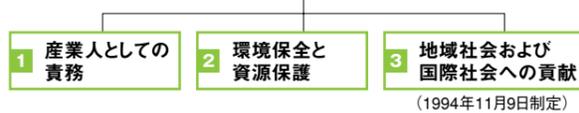
当社では、社長と環境担当役を責任者とした環境マネジメント推進体制を設け、各組織に環境統括者、環境責任者、担当者を設置し、グループの環境マネジメントシステムを運用しています。

## パナホームグループ地球環境憲章

人と地球にやさしい企業、すなわち快適性を追求しつつ、地球環境を守る企業活動を具現化するために、全社員がとるべき行動の規範を明文化し、1994年11月9日に「パナホームグループ地球環境憲章」として制定しました。

### 基本理念

当社が地球との共生を果たしながら永続的に発展し続けるためには、全社員が地球的視野での着眼のもとに、足元を見つめた堅実な歩みを取らなければならない。  
地球の資源と環境の有限性への理解のもと、地球との共生を求むる持続的発展の可能な社会、国内外を問わず、企業と消費者・地域住民とが相互の信頼のもとに共生する社会、地球環境保護に配慮しながら創造力豊かな企業活動が展開される社会の実現に努めなければならない。



## パナホームグループ環境宣言

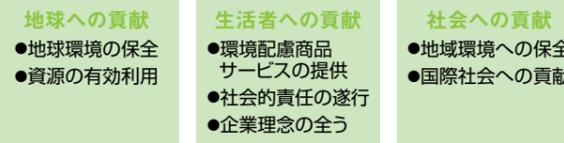
パナホームグループ地球環境憲章を基礎とし、1999年6月1日に「パナホームグループ環境宣言」として「スローガン」「環境理念」「行動指針」を制定し、環境への取り組みを推進しています。

### スローガン

「人の健康」と「地球との共生」を実現させる住まいづくり

### 環境理念 (地球環境憲章)

地球の資源並びに自然環境の有限性の理解のもと、地球との共生を目指し、持続的発展を可能とする社会の実現に努める。



### 行動指針

商品や技術の開発、企業倫理、教育・情報開示の3つの行動指針に基づいた活動を推進しています。

- 1. 継続的改善活動の推進**
  - 自主的な目的、目標を設定し、企業活動全般にわたる環境負荷の継続的改善並びに環境に配慮した商品と技術の開発に努める。
  - < I > 地球温暖化防止を目的とした「省エネルギー」の推進
  - < II > 資源の有効利用を目的とした「廃棄物削減、リサイクル」の推進
  - < III > 大気、水質、土壌等の汚染防止を目的とした「環境保全」の推進
  - 環境マネジメントシステムを構築、維持し、改善に努める。
- 2. 社会的責任の遂行と企業倫理の全う**
  - 環境関連法規制及び関連団体の環境配慮事項を遵守する。
  - 企業市民として地域社会の共生に努め、環境保全活動への参加と社員の自主的な活動への支援に努める。
- 3. 従業員の教育と情報の開示**
  - 全従業員に対し、環境教育を行い、環境保全意識の啓発に努める。
  - 環境方針は全従業員に周知するとともに公開する。

## エコライフ住宅宣言

一、パナホームは、技術と自然との調和により、「人と地球にやさしい住まい」をお届けします。

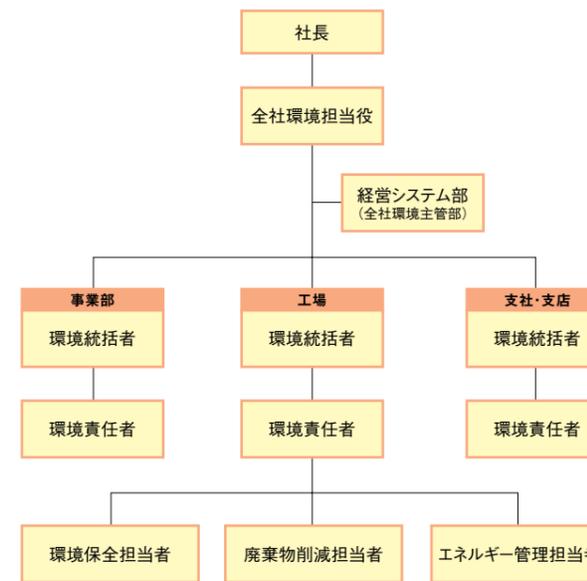
二、パナホームは、事業活動に伴う環境負荷の低減活動を推進します。

三、パナホームは、全社員がそれぞれの立場で環境活動に取り組みます。

(2003.8.1)

## 環境マネジメント

### ●環境マネジメント推進体制



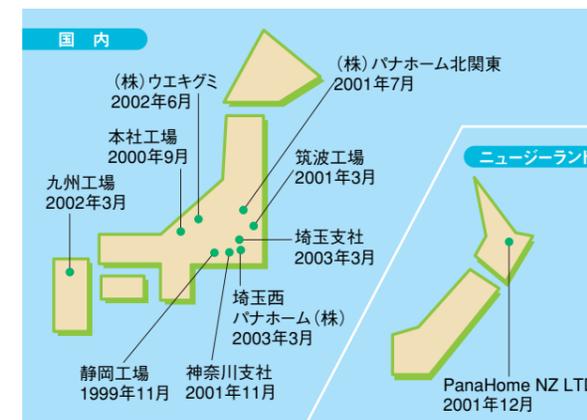
## 環境監査・法順守

経営監査の一環として、環境関連法に基づき廃棄物の適正処理状況、省エネルギー推進状況、法定資格者の充足状況など法令の順守徹底内容を中心に環境監査を行っています。過去3年にわたり、環境関連法に基づく法令違反、罰則、科料、訴訟などはありませんでした。



環境監査風景

### ●ISO14001 認証取得



## 環境活動のあゆみ

- 1963年 ナショナル住宅建材株式会社設立
- 1978年 省エネルギー住宅「ソーラナ」発売
- 1981年 (財)住宅・建築省エネルギー機構主催「省エネルギー時代の集合住宅」設計競技において「1等建設大臣賞」受賞
- 1983年 「ハウス55」が建設省「省エネルギー性能評価」第一号取得
- 1988年 環境価値を創造する賃貸集合住宅の街づくり「サンビレッジ」事業スタート
- 1990年 社内環境保護活動「エコロ30運動」スタート
- 1991年 (社)国土緑化推進機構「緑と水の森林基金」への寄付開始「地球環境改善委員会」設置
- 1993年 自然とふれあう住環境づくり「環境ふれ愛住宅」を提唱省エネルギー工場「静岡工場」竣工・操業開始計画植林材の活用を目的とした「PanaHome NZ LTD.」竣工・操業開始
- 1994年 地球環境改善室設置(現経営システム部)
- 1995年 内部環境監査開始(九州工場より)
- 1996年 千里地区ゴミゼロ運動開始
- 1997年 本社工場・九州工場エネルギー管理優良工場受賞(通産局長賞)
- 1998年 静岡工場エネルギー管理優良工場受賞(通産局長賞)筑波工場エネルギー管理優良工場受賞(通産局長賞)環境共生住宅認証取得((財)住宅・建築省エネルギー機構)
- 1999年 静岡工場 ISO14001認証取得
- 2001年 工場設備環境アセスメント開始静岡・九州工場エネルギー管理優良工場受賞(資源エネルギー庁長官賞)計画植林材「FSC森林認証(CoC認証)」取得PanaHome NZ LTD. ロトルア市より環境賞を受賞(財)モラロジー研究所 谷川生涯学習センター研修寮が「(財)住宅・建築省エネルギー機構 環境・エネルギー優良建築物」に認定(株)パナホーム北関東ISO14001認証取得
- 2002年 静岡工場ゼロエミッション化達成全工場ISO14001認証取得完了全工場の焼却炉の停止
- 2003年 全工場ゼロエミッション化達成エコライフ住宅「エルソーラナ」発売
- 2004年 茨城支社・福岡支社・千葉支社・首都圏環境開発支社・神奈川支社・埼玉支社ゼロエミッション化達成本社工場 エネルギー管理優良工場受賞(資源エネルギー庁長官賞)

# 中長期目標、環境会計

## ●2003年の実績と中長期目標

評価の区分: ● 目標達成 ● 未達成 ● 進捗なし

テーマ	中長期目標(2005~2010年度達成)	2003年度目標	評価	2003年度実績	2004年度目標
体制	【2005年度達成】 環境マネジメント体制の充実 全組織機能における環境マネジメントシステムの構築	● 支社、商品開発部門における環境マネジメントシステムの整備 ● 環境監査体制の確立	<span style="color: blue;">●</span>	● 支社におけるモデルEMSの作成・試行 ● 環境監査の構築及び実施	モデル支社以外の拠点展開と全組織機能における環境マネジメントシステムの整備
資源循環	【2005年度達成】 ● 新築現場および事務所のゼロエミッション化達成 ● 工場及び施工現場の廃棄物排出量を2001年度比25%以上削減(基準:2001年度 生産:6,605t/年、施工:43,695t/年)	● モデル支社による新築現場のゼロエミッション化 ● 事業活動における廃棄物発生量・リサイクル量の把握および削減 ● 解体マニュアル作成による解体廃棄物のリサイクル化推進	<span style="color: orange;">●</span>	● モデル支社のゼロエミッション化達成(6支社) ● 工場の廃棄物排出量2001年度比18%増加 ● 新築現場の廃棄物排出量2001年度比32%削減	● 新築現場のゼロエミッションサイト20拠点 ● 工場および施工現場の廃棄物排出量を2001年度比15%以上削減
温暖化対策	【2010年度達成】 ● 事業活動に伴う温室効果ガス排出総量1990年度比15%以上削減 → 生産金額当たりの二酸化炭素排出量を1999年度比10%以上削減(16.8t-CO <sub>2</sub> /億円) ● 輸送出荷金額当たりの二酸化炭素排出量を1999年度比10%以上削減(7.7t-CO <sub>2</sub> /億円)	● 全事業活動における温室効果ガス排出量の把握	<span style="color: orange;">●</span>	● 把握システムの構築及び排出量の把握 ● 生産部門17.4t-CO <sub>2</sub> /億円(1999年度比7%削減) ● 輸送部門6.9t-CO <sub>2</sub> /億円(1999年度比20%削減)	生産・生産金額当たりの二酸化炭素排出量を1999年度比10%以上削減 輸送・出荷金額当たりの二酸化炭素排出量を1999年度比20%以上削減 事務所・二酸化炭素排出量を2003年度比5%以上削減
汚染リスク	【2005年度達成】 ● 工場PRTR指定物質排出量を2001年度比60%以上削減	● 工場・排出量10%以上削減 ● 工場PRTR指定物質排出量を2001年度比60%以上削減	<span style="color: green;">●</span>	● 工場PRTR指定物質排出量2001年度比53%削減 ● 工場汚染対策マニュアルに基づく土壌調査体制の確立	工場PRTR指定物質排出量2001年度比50%以上削減維持
製品対策	【2005年度達成】 ● 次世代省エネルギー基準仕様供給率100%	● 供給率30%以上	<span style="color: orange;">●</span>	供給率24.7%	供給率70%以上
	● 自然エネルギー(ソーラー発電など)採用住宅提供率50%以上	● 自然エネルギー(ソーラー発電など)採用住宅提供率10%以上	<span style="color: orange;">●</span>	提供率9.1%	提供率25%以上
	● ジクロロメタン、マンガン(塗料)、クロムの全廃 ● 内装材のトルエン、キシレンの全廃 ● 有害化学物質の削減 ● 長寿命化の推進	● 内装材の住宅性能表示特定物質使用状況の把握ならびに削減推進 ● ジクロロメタン、マンガン、クロムの削減着手 ● グリーン調達の本格的実施	<span style="color: green;">●</span>	● 内装材の住宅性能表示特定物質削減推進 ● 断熱発泡剤のジクロロメタンを切替え削減完了	● ジクロロメタン、マンガン(塗料)、クロムの削減 ● 内装材のトルエン、キシレンの削減
● 住宅長寿命化システムの構築および資源循環型商品の開発	● 長期保証部材のメンテナンス要領の明確化 ● 解体容易な構造・工法の研究開発の推進	<span style="color: blue;">●</span>	● 長期保証部材のメンテナンス要領の明確化 ● パナホーム物件の解体調査	● 住宅長寿命化システムの構築および資源循環型商品の開発	

## 環境会計(対象範囲:国内全工場)

地球環境保全活動に使用した費用および効果を、国内全工場の範囲にて把握しました。今後は範囲の拡大を行い、環境活動を進める上での判断ツールとして利用します。

## ●環境コスト (単位:千円)

環境コスト項目	投資額	費用額	
事業エリア内コスト	公害防止	12,500	47,873
	地球環境保全	8,479	7,890
	資源循環	0	128,048
上下流コスト	0	0	
管理活動コスト	0	109,481	
社会活動コスト	0	16,999	
合計	20,979	310,291	

(注) 環境省「環境会計システム導入のためのガイドライン(2002年版)」に基づき、投資額と費用額で集計

## ●環境効果 (単位:千円)

環境効果項目	費用額
省エネルギー	35,013
省資源化	49,120
副産物の有価売却	12,884
その他	476
合計	97,493

## 環境教育

従業員の環境意識の向上を図るため、新入社員環境導入研修や工場・事業所ごとの内部環境監査員研修、廃棄物処理法の勉強会などを実施しています。

## ●環境教育実施状況

研修名	対象	実施時期	参加人数
廃棄物処理勉強会	東京支社・岡山支社	7月・1月	51名
建設リサイクル法・廃棄物処理勉強会	パナホーム北関東・岐阜支社・高知支社	10月・11月	27名
廃棄物分別教育	筑波工場・(株)パナホームテックオークラ	7月・10月・3月	62名
省エネ勉強会	筑波工場	6月・2月	22名
化学物質関連法律勉強会(MSDS教育含む)	静岡工場・(株)パナホームテックオークラ	8月・1月・3月	41名
環境マネジメントシステム研修	パナホーム北関東・埼玉支社	4~5月、10~12月	560名
内部監査員教育(QMS・EMS複合MS)	本社、静岡、筑波、九州の各工場	8月・9月・12月・2月	111名
ISO規格要求事項勉強会	本社工場、筑波工場	9月	31名
ISO導入教育	(株)パナホームテックオークラ	8月・9月・3月	22名

# パナホームの主な環境負荷

## INPUT

エネルギー	総発熱量	474,635GJ
電力	2,309万kWh	A重油 283kl
LPG	12,302m <sup>3</sup>	ガソリン 6,059kl
都市ガス	4.3万m <sup>3</sup>	軽油 858kl
灯油	43kl	上水道 9.9万m <sup>3</sup>

エネルギー	総発熱量	779,9461GJ
金属材料	6.9万t	その他 0.4万t
プラスチック	0.4万t	ガラス陶磁器類 11.4万t
木	4.7万t	

エネルギー	総発熱量	254,685GJ
電力	2,012万kWh	軽油 175kl
ガソリン	4kl	プロパン 100t
A重油	1,077kl	灯油 17kl
ブタン	46t	

水	24.4万t	(内、上水道 8.1万t)
---	--------	---------------

エネルギー	総発熱量	98,033GJ
軽油	2,566kl	

梱包資材	紙容器(ダンボール除く)	112t
	プラスチック容器	77t
	紙製包装	117t
	プラスチック製包装	60t

エネルギー	総発熱量	173,746GJ
軽油	1,774kl	ガソリン 3,063kl

資材	木	1.1万t	金属	0.7万t
	コンクリート	28万t		

エネルギー(30年間)	総発熱量	26,370,933GJ
電力	254,919万kWh	LPG 7万t
都市ガス	16,875万m <sup>3</sup>	灯油 18万kl

## OUTPUT

### 事務所(営業・設計)

二酸化炭素 25,317t-CO<sub>2</sub>

### 材料調達

二酸化炭素 470874t-CO<sub>2</sub>

### 生産

二酸化炭素 11,207t-CO<sub>2</sub>

#### 生産廃棄物

排出量 7,802t リサイクル量 7,802t  
有価売却 2,633t (リサイクル率 100%)

排水 11.8万t

化学物質 5.1万t

### 輸送

二酸化炭素 6,785t-CO<sub>2</sub>

### 施工

二酸化炭素 13,663t-CO<sub>2</sub>

#### 新築廃棄物

排出量 29,551t リサイクル量 13,077t (リサイクル率 44%)

#### 解体廃棄物

排出量 100,595t (特定建設資材 リサイクル率 86%)

### 居住・メンテナンス

二酸化炭素(居住時) 203.8万t-CO<sub>2</sub>

#### 一般廃棄物

排出量(居住時) 48万t

## 住宅一棟の供給に関する環境負荷

資材 63t 水 40t  
エネルギー 4,125GJ



二酸化炭素 301t-CO<sub>2</sub> 排水 14t  
廃棄物 16t 化学物質 6t

## ●データの算出について

**事務所(営業・設計)**  
エネルギー(電力・都市ガス・プロパン・灯油・A重油)=2003年度における自社直営およびパナホーム協業会社の調査データおよびサンプルデータからの算出  
エネルギー(ガソリン・軽油)=2003年度における自社直営およびサンプルデータからの算出(使用自動車の走行距離÷燃費)

**材料調達**  
エネルギー=標準プランの単位面積当たり資材エネルギー使用量(1998年試算)×2003年度における供給総床面積  
資材=標準プランの単位面積当たり資材使用量(1998年試算)×2003年度における供給総床面積

**生産**  
エネルギー、水、廃棄物、化学物質=2003年度における自社4工場の調査データ  
排水=各工場の1日当たりの排水量×各工場の稼働日数

**輸送**  
エネルギー(軽油)=2003年度における自社4工場から建設現場までのトラック走行距離÷燃費  
梱包資材=2003年度における容器包装リサイクル法に基づき、梱包資材使用実績値のみ掲載

**施工**  
エネルギー(軽油)=[建機ごとの稼働時間(m<sup>2</sup>当たり)×建機ごとの燃費(時間当たり)+使用建機台数(m<sup>2</sup>当たり)×建機の平均的な移動距離×建機輸送による燃費]×2003年度における供給総床面積  
エネルギー(ガソリン)=職人1人当たりの移動距離×人工数(m<sup>2</sup>当たり)÷車の燃費×2003年度における供給総床面積  
資材=2002年度自社運営における調査データ平均値×2003年度における出荷棟数

新築廃棄物=2003年度における自社直営およびパナホーム会社の調査データ  
解体廃棄物=2003年度における自社直営およびパナホーム会社の調査データ

**居住・メンテナンス**  
エネルギー(電力)=各仕様における年間当たりのエネルギー消費量((社)プレハブ建築協会「エコアクション21」)×各仕様の販売戸数  
一般廃棄物=平成12年度実績値「1人1日当たりの一般廃棄物排出量(740g)」(出典:平成15年版環境白書)×4人(1家族4人とする)×365日×30年間×2003年度における販売戸数

**共通**  
二酸化炭素=各エネルギー消費量×CO<sub>2</sub>排出原単位(出典:(社)プレハブ建築協会)

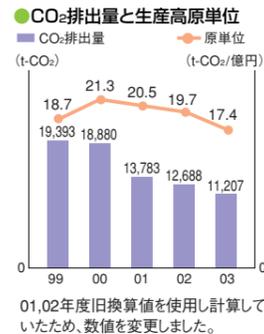
# 温室効果ガス、廃棄物の削減

温室効果ガスと、廃棄物の削減はパナホームグループとしても急務の課題だと認識しています。2003年度は、輸送部門でモーダルシフトを採用し、CO<sub>2</sub>削減に大きな効果を得ることができました。

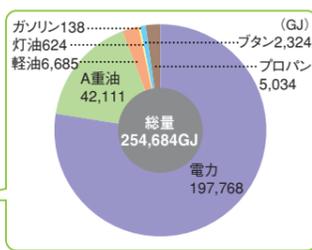
## 温室効果ガスの削減

### 工場

2002年度に続き「CO<sub>2</sub>排出量生産高原単位を1999年度比10%以上減」を目標に取り組み、静岡工場では床パネルラインの電気加熱炉入口ブラシの改善、また筑波工場では薄板成型ラインのコンベア空転ロス対策の実施など、電力使用量の大幅な改善を行い、原単位で1999年度比7.0%減となりました。



### エネルギー使用量と生産高原単位



## 物流

2003年度は8便制の全国水平展開を推進、必要な部材を必要な時に届ける配送システムに切り替え、混載便等を削減しました。またモーダルシフト試行を実施し、九州・筑波工場間の船舶によるモーダルシフト化を実現、2004年度から本格稼働しています。

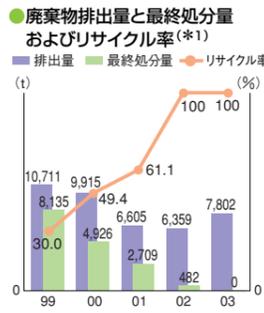


## 廃棄物の削減

### 工場

本社工場での木粉の処分方法の変更(有価物処理→リサイクル)、試作廃材の廃棄などにより2002年度比で1,443t増加しましたが、2003年度3月から継続して、直接埋立、単純焼却なしで廃棄物再資源化100%を継続しています。

(注)2002年度実績で誤りがみつかりましたので訂正しました。  
\*1 リサイクル率は各年度3月度の実績です。



廃棄物の種類	排出量 (t)	最終処分量 (t)	サーマル (t)	マテリアル (t)	リサイクル率 (%)
木くず	3,593	0	1,400	2,193	100
ガラス・陶磁器くず	2,092	0	39	2,054	100
金属くず	44	0	6	39	100
廃プラスチック	1,062	0	790	272	100
紙くず	181	0	0	181	100
廃油	23	0	21	2	100
その他	805	0	733	72	100
合計	7,802	0	2,989	4,813	100

## 施工

建設現場では、分別の徹底、リサイクルルートの開拓などを行い、リサイクル率の向上を図りました。また2005年度のゼロエミッション化達成を目指した活動を行い、2004年3月までに6支社が社内認定基準をクリアしました。解体現場では、建設リサイクル法に対応し、一部地域を除いた特定建設資材廃棄物の再資源化を徹底しています。

### 新築・解体廃棄物の内訳

廃棄物の種類	新築廃棄物			解体
	排出量 (t)	リサイクル量 (t)	リサイクル率 (%)	
木くず	2,933	1,893	64.5	24,623
紙くず	2,060	1,611	78.2	160
繊維くず	109	37	33.9	465
廃プラスチック	3,194	811	25.4	974
金属くず	1,493	1,250	83.7	7,441
ガラス・陶磁器くず	3,625	2,414	66.6	6,775
がれき類	922	570	61.8	46,103
混合廃棄物 (安定)	3,026	884	29.2	8,175
混合廃棄物 (管理)	12,189	3,609	29.6	5,878
合計	29,551	13,077	44.3	100,595

特定建設資材のリサイクル状況: 木くず 22,127t (排出量の90%)、コンクリート廃材 39,919t (排出量の84%)

# 有害化学物質の削減

住まいづくりの過程で使用する有害化学物質について、きちんと把握するとともに削減にも努めています。また工場近隣の方や住まう方の健康に関わるという認識のもと、水質汚染防止や土壌汚染対策にも配慮しています。

## 有害化学物質の削減

2003年度削減目標であるジクロロメタンにつきましては、断熱材用発泡剤で使用ゼロ化を達成しました。ホルムアルデヒド対策の一環として建材のホルムアルデヒド発散区分の最高ランクのF☆☆☆☆品への切り替えを完了し、改正建築基準法の対応を実施しています。工場より排出されるPRTR対象物質については、切り替えなどを推進した結果、2001年度比53%減とすることができました。

\* F☆☆☆☆

建材のホルムアルデヒド発散についてJIS、JASで定める区分での最高ランク

### 化学物質の排出・移動量調査結果

名称	PRTR対象物質	主な用途	取扱量	排出量				消費量*
				大気	水域	下水道	廃棄物	
三酸化アンチモン	塗料		1.3	0	0	0	1.3	0
エポキシ樹脂	パテ主剤		358.5	0	0	0	36.4	322.0
エチルベンゼン	塗料		2,813.4	2,813.0	0	0	0.2	0.2
エチレングリコール	水系セラ塗料、パテ		12.1	8.6	0	0	0.4	3.2
エチレングリコールモノエチルエーテル	工場床塗料		0.2	0.2	0	0	0	0
キシレン	塗料・接着剤		21,201.2	21,144.2	0	0	57.0	0
クロム化合物	セラ上塗料、補修塗料		0.3	0.1	0	0	0.1	0.1
ピフェントリン	防蟻防蟻液		13.2	0	0	0	1.0	12.3
4,4ジフェニルメタンジイソシアネート	外壁接着剤		142.0	0	0	0	14.4	127.1
ジクロロメタン	ラッピング接着剤、断熱材発泡剤		17,657.4	14,358.0	0	0	3,299.4	0
有機スズ化合物	セラ塗料顔料		266.0	0	0	0	52.4	213.7
スチレン	階段塗装		394.0	362.0	0	0	31.5	0.4
1,3,5-トリメチルベンゼン	塗料		38.8	38.8	0	0	0	0
トルエン	塗料・接着剤		15,730.3	12,062.3	0	0	3,668.0	3.6
ノニルフェノール	パテ硬化剤		9.0	0	0	0	1.4	7.5
フェノール	断熱材		38,328.0	0	0	0	0	38,328.0
フタル酸ジ-n-オクチル	外壁接着剤		2,245.1	0	0	0	297.2	1,948.0
フタル酸ジ-n-ブチル	外壁接着剤		5,872.1	0	0	0	461.2	5,411.0
フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)	目地シール剤、接着剤硬化剤		68.8	0	0	0	4.1	64.7
ヘキサメチレンジイソシアネート	ALC補修塗料		0.02	0.02	0	0	0	0
ホルムアルデヒド	フェノール反応		358.0	358.0	0	0	0	0
マンガン化合物	セラ上塗料、溶接工程		525.1	14.7	0	0	180.0	330.4

\* 消費量はPRTR対象物質が反応により他物質に変化したり、製品に含有もしくは付随して場外に持ち出される量です。

## 水質汚染防止への取り組み

大切な水資源、霞ヶ浦や琵琶湖 (Mother Lake) を有する県に位置する筑波工場および本社工場 (滋賀県) では、24時間水質モニタリングシステムを設置し、万が一基準値を超過した場合でも緊急遮断弁の閉鎖により汚水の外部流出を防ぐなど、水質汚濁防止に配慮しています。



水質モニタリングシステム点検

## 土壌汚染対策法への対応

宅地の土壌汚染対策は、住む人の健康に深く関わってきます。当社では、お客さまに土壌汚染のある宅地を提供することのないよう、宅地を新規購入する場合は土地の使用履歴や土壌汚染状況を調査し、土壌品質の確保に努めています。

また、住まいのベースとなる土壌にシロアリを寄せ付けないよう、安全性を追求した当社独自の防蟻・防湿シートを敷き対応しています。シートに使われる非有機リン系の防蟻剤は、昔ながらの蚊取り線香に使われる除虫菊エキスよりさらに安全な薬剤を使用しています。

## PCBの管理

PCB廃棄物特別措置法に対応し、漏えいや飛散のないように適正に保管・管理し、保管状況の届出を実施しています。2003年度については筑波工場、本社工場とも設備解体に伴い発生したコンデンサーおよび安定器を新たに管理対象とし管理しています。

### PCB廃棄物保管数

	2002年度保管数*		2003年増加	
	台数	個数	台数	個数
本社工場	高圧コンデンサー (4台) 蛍光灯安定器 (ドラム缶17缶)		高圧コンデンサー (1台) 蛍光灯安定器 (12個)	
筑波工場	—		高圧コンデンサー (1台)	

\*旧設備に含まれていたPCBを含む機器を2001年4月に取り外しを完了したものです。



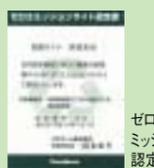
PCB保管 (本社工場)



PCB保管 (筑波工場)

## COLUMN パナホームのゼロエミッションとは

パナホームでは事業活動から排出される廃棄物を単純焼却や直接埋立処分を行わずに、再資源化率を100%とすることをゼロエミッションと定義しています。ゼロエミッションは、表に示すように二つのレベルに分け、レベル1を達成した時点でゼロエミッション化達成とし、その後はレベル2の達成に向けて取り組みを進めています。



### ゼロエミッションのレベル別定義

レベル	〇...認める ×...認めない									
	埋立処理	単純焼却	サーマルリサイクル	中間処理経路の埋立	中間処理後の残りの埋立	サーマルリサイクル後の灰埋立	市町村ルートの除外	非通常時発生廃棄物の除外	緊急事態発生廃棄物の除外	廃棄物排出量原単位の増加
レベル1	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
レベル2	×	×	○	○	○	○	○	×	×	×

# パナホーム 住まいの環境配慮図鑑

環境配慮部材を開発し、お客さまに環境負荷の少ない暮らし方をご提案しています。  
その売上高は、住宅システム部材の44%を占めています。

## 地球温暖化の防止に役立つことを考えました

### 1 ソーラー発電システム&オール電化

美観を損ねることなく、屋根の上に取り付け高出力の太陽電池が、太陽光エネルギーにより発電。地球温暖化の原因となるCO<sub>2</sub>を排出する心配のないクリーンなエネルギーを、上手に使います。



### 2 屋上緑化システム

屋上の表面を土で覆い、その上の芝生・樹木などが屋内に伝わる熱や冷気を抑え、夏は涼しく、冬は暖かい環境となり冷暖房エネルギーも節約できます。さらに都市部のヒートアイランド現象の抑制にも貢献します。

#### その他 断熱材(ノンフロン化)

断熱材の発泡剤に代替フロンを使用している断熱材をなくし、ノンフロン化による温室効果ガスの削減やオゾン層の保護にも貢献しています。

### 3 お知らせ節電盤

電気の無駄使いがひとめでチェックできるから安心です。省エネ意識を通じて、エコロジー&エコノミーを実現します。  
※ソーラー発電システムとの併設はできません。



### 4 ひとセンサ付ライト

人の動きで自動的に照明やトイレ換気扇をON/OFFするセンサ。スイッチの消し忘れを防ぎ、便利で省エネ効果の高い設備です。



### 5 鉄骨構造&次世代省エネ基準

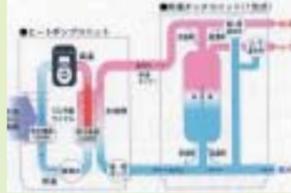
高耐久な鉄骨をベースにした頑強な構造。住宅の長寿命化は解体・建替時の省資源や省エネルギーにつながります。ボルト等による乾式固定のため解体・リサイクルも容易です。また2004年度からすべての戸建住宅で次世代省エネを標準仕様といたします。冷暖房が効率よく使え、地球温暖化防止にも光熱費削減にも貢献します。



## 自然を守り、自然の恵みと力を活用しました

### 9 エコキュート

大気中の熱とオゾン層を破壊することのないCO<sub>2</sub>冷媒を活用し、省エネ・省コストを実現する電気温水器タイプの給湯システムです。



### 10 ELタイル「キラテック」

光触媒技術を活用したELタイル。太陽光や雨など自然の力を活用して、新築時の美しさを長期間維持し、排気ガス等の有害物質NO<sub>x</sub>の浄化にも貢献します。(浄化力は200m<sup>2</sup>でポプラ14本分)



### 11 空気清浄機付き呼吸の道タワー

(エコライフ換気システム→P6参照)

室内の空気環境を快適にコントロール。住まいの換気機能を高めながらホコリや花粉とともに臭いやVOCの除去にも優れた効果を発揮します。



## 資源を有効に、活用することを考えました

### 6 ELタイル (P7参照) 7 ラジアータバイン・ラバーウッド (P9参照)

ラジアータバインは腰壁や下地材等、ラバーウッドは階段等に使用されます。

### 8 非木材素材採用(ケナフ・ガバス)

森林保護のためにも非木材パルプの採用も進めています。わずか1年で収穫できるケナフや、砂糖を搾ったあとのガバスといった自然素材をクロスや障子紙に用いる工夫を行っています。

#### その他

**節水・雨水利用**  
雨水を貯水し、庭への散水等に活用します。(研究開発中)



## 住環境問題の対策にも取り組みました

### 12 調湿建材【稚内珪藻土 (P6参照)】

稚内珪藻土等を利用した各種調湿建材を開発しています。(稚内珪藻土タイル、調湿デザインタイル、調湿石膏ボードなど)

### 13 有害化学物質・低濃度化 (F☆☆☆☆)

インテリア部材やクロス接着剤にいたるまで、VOC対策を徹底しています。



\*建築される住宅や建築地周辺環境により、ご採用いただけない場合があります。

## COLUMN かわいいペットとくらする賃貸住宅

現在、空前のペットブームですが、メンタルヘルス面でもペットをかわいがることには効果があることがわかっています。そんなかわいい家族の一員と、もっと快適にくらする賃貸住宅があれば…。「ノリジョ・ペット」はペット共生賃貸住宅。獣医さんの知恵と工夫を生かすつ、傷や汚れに強くメンテナンスも簡単、ペットにも人にもやさしい住まいを実現しました。

ペットが自由に入出りできるペットドア



## 他にも、環境配慮のための工夫あれこれ

### グリーン調達

グリーン調達基準を定め、環境負荷の少ない資材を優先的に購入しています。また、お取引先の選定の際には、品質・価格に加えてISO14001の認証取得状況や環境保全の取り組み状況なども考慮して決定しています。

#### ● 資材の選定基準 ●

1. 環境関連法規制に適合していること
2. 「化学物質管理基準」にて定める使用禁止物質を含有していないこと
3. 「化学物質管理基準」にて定める化学物質の含有量が削減されていること
4. 再生資源・部品の使用や小型化、軽量化等により、省資源化、省エネルギー化が図られていること
5. 使用に当たり、騒音、振動、悪臭の発生がないこと
6. 廃棄に当たり、大気汚染、水質汚濁、土壌汚染の発生等の環境負荷が低いこと
7. リサイクル設計、解体・分解容易性設計、長寿命化設計がなされていること
8. 資材に関する環境情報を公開していること
9. 梱包についても、上記内容と同様に省資源化、リサイクル化、化学物質の含有量削減等がなされていること

### 設計審査

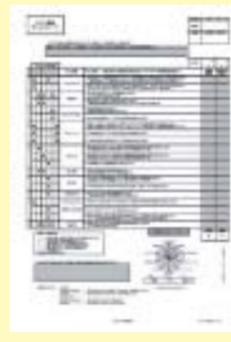
商品の設計段階でも環境保全性を考慮し、環境保全設計標準に基づいて審査を行うとともに、ECOチェックシートにより環境配慮部材を開発しています。

#### ● 環境保全設計標準 ●

資材段階→製造段階→建設段階→使用段階→解体段階における環境配慮設計の考え方を示したもの

#### ● ECOチェックシート ●

コンプライアンス、省資源化、処理・処分容易性、リサイクル・リユース・リデュース、包装・梱包、省エネ性、住環境保全性、サステナビリティ(持続性→長寿命化)について確認するもの

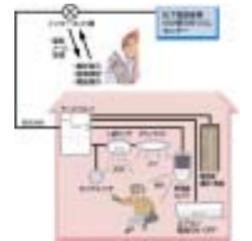


## “安全・安心”のために

お客さまが毎日を安全・安心にお過ごしいただくために、パナホームでは多彩な防犯配慮システムのご提供を通じて、大切なご家族や住まい、財産をお守りします。

日本において「水と安全はタダ」と言われたのは、もはや過去のこと。ピッキングなどの犯罪から、ご家族やお住まいを守る大切さが重要視されています。

パナホームは、防犯設備のみならず、プランニングも含めた多彩な防犯配慮で、毎日を安全・安心にお過ごしいただけます。また、外出先から防犯・電気設備などが携帯電話で遠隔操作できる、家庭内ネットワーク「ハウスルー・ネット」や24時間365日住まいを見張るセコムホームセキュリティシステムを搭載した「セキュリティ」シリーズなど、ひとクラス上の安全・安心をお届けします。



#### ハウスルー・ネット

\*別途松下電器産業(株)とのオンライン契約が必要です。



#### ホームセキュリティ

\*セキュリティシリーズでは、別途セコム(株)とのオンライン契約が必要となります。「セキュリティ」は賃貸住宅にも対応しています

## 環境リスクマネジメント

環境リスクの未然防止とともに緊急事態発生時の危機管理体制を整え、製品である住宅においても多様な条件に耐える品質の研究・管理に努めています。

### 緊急時の対応

環境リスクを未然に防止するだけでなく、天災などにより、万が一有害物質などの流出があった場合でも、外部に流出しないように、被害を最小限に抑えるために、定期的に緊急時訓練を行い、緊急備品の使用方法や緩和処置、対応手順の有効性の確認を行っています。



緊急事態(廃棄物置場からの廃油漏洩流出)対応訓練

### 住宅試験センター、製品試験センター

本社工場にある住宅試験センターでは、さまざまな気象条件を自在に再現し、建物の耐久性を繰り返しチェックするとともに、空気環境の分析などを行っています。また開発部材や完成部材を厳しくチェック、品質や安全性など多岐にわたる実験・研究を通して性能と信頼性を追求しています。



人工太陽と雨水で耐久性試験



部材強度引っ張り試験

# サイトデータ

## 筑波工場

所在地:〒300-2401 茨城県筑波郡谷和原村大字台字苗代山1000番地 主要生産品目:工業化住宅を構成する部材  
環境コンセプト:「豊かな水と緑と田園に共生する工場を!」

### ●大気 (大気汚染防止法、条例・協定)

項目	年間総量
排出ガス総量 (m <sup>3</sup> /年)	2,575,482
SOx (t/年)	2.57
NOx (t/年)	3.08

項目	対象設備	測定値	自主基準	規制値	測定頻度
煤塵 (g/m <sup>3</sup> N)	ボイラー1	0.01	0.2	0.3	1回/年
	ボイラー2	0.01	0.2	0.3	1回/年
	ボイラー3	0.01	0.2	0.3	1回/年
SOx (K値)	ボイラー1	0.11	0.5	0.53	1回/年
	ボイラー2	0.07	0.5	0.49	1回/年
	ボイラー3	0.13	0.5	1.12	1回/年
NOx (ppm)	ボイラー1	100	180	250	1回/年
	ボイラー2	100	180	250	1回/年
	ボイラー3	100	180	250	1回/年

煤塵、硫黄酸化物、窒素酸化物は主要な3施設について記載

### ●悪臭

項目	測定値	自主基準	規制値	測定頻度
酢酸エチル (ppm)	0.003	3	7	1回/年
トルエン (ppm)	0.003	10	30	1回/年
スチレン (ppm)	ND	0.4	0.8	1回/年
キシレン (ppm)	ND	1	2	1回/年

### ●騒音

時間帯	測定値 (最大値)	自主基準	規制値	測定頻度
8:00~19:00 (db)	57.5	75.0	75.0	2回/年
6:00~8:00 (db)	53.3	75.0	75.0	2回/年
19:00~23:00 (db)	57.0	75.0	75.0	2回/年
23:00~6:00 (db)	56.9	60.0	65.0	2回/年

### ●振動

時間帯	測定値	自主基準	規制値	測定頻度
8:00~19:00 (db)	45.6	65.0	—	1回/年
19:00~8:00 (db)	37.0	60.0	—	1回/年

### ●水質 (水質汚濁防止法、条例・協定)

項目	年間総量
排水排出総量 (t/年)	10,128.7
BOD総量 (t/年)	0.019
COD総量 (t/年)	0.054

項目	測定値	自主基準	規制値	測定頻度
BOD	3.2	10.0	10.0	1回/月
COD※	7.2	10.0	—	1回/月
PH (PH)	7.5	6.0~8.0	5.8~8.6	1回/月
SS	1.4	15.0	15.0	1回/月
窒素	11.0	40.0	120.0	2回/月
リン	3.0	5.0	16.0	2回/月
全クロム	—	—	—	—
銅	—	—	—	—
亜鉛	0.1	3.0	5.0	2回/月
フェノール	—	—	—	—
ノルマルヘキサン抽出物質	1.0	3.0	5.0	2回/月
マンガン	—	—	—	—
鉄	—	—	—	—
フッ素	—	—	—	—
大腸菌群数 (個/cm <sup>3</sup> )	ND	3,000	3,000	1回/年

24時間水質監視システムでPH、油分、流量を連続モニタリング  
※CODは規制対象外であるが自主的に測定

(注)  
・直近のデータを記載しています  
・「規制値」は法または条例および協定の値を記載しています  
・「—」は規制対象外または実測値なしを、「ND」は定量下限値以下(不検出)を示します

### ●化学物質 (PRTR法第一種指定物質) (単位:kg/年)

物質名	取引量	排出量			移動量	消費量 <sup>*2</sup>
		大気	水域	下水道		
三酸化アンチモン	1.3	—	—	—	1.3	—
エポキシ樹脂	10.0	—	—	—	1.5	8.5
エチルベンゼン	2,085.0	—	—	—	—	—
エチレンジオキソラン	8.4	—	—	—	—	—
キシレン	13,046.0	—	—	—	—	—
有機スチレン化合物	120.0	—	—	—	40.0	80.0
トルエン	3,180.0	—	—	—	700.0	—
ノニルフェノール	8.3	—	—	—	1.2	7.1
フタル酸ジ-n-ブチル	3,015.0	—	—	—	151.0	2,864
マンガン化合物	272.3	—	—	—	120.0	147.3

### 茨城県優良工場表彰

茨城県より発生する産業廃棄物の再資源化を積極的に行い、リサイクル率100%を達成している事業所として「リサイクル優良事業所」の認定をいただきました。現在、筑波工場では発生する廃棄物を43品目に分別し、リサイクルルートに排出していますが、今後は発生抑制に取り組み廃棄物発生を削減に努めます。



いばらきゼロエミッション推進フォーラム表彰式

## 静岡工場

所在地:〒439-0031 静岡県小笠郡菊川町加茂1300番5 主要生産品目:工業化住宅を構成する部材  
環境コンセプト:「温暖で豊かな自然、茶畑と共生する工場をめざします。」

### ●大気 (大気汚染防止法、条例・協定)

項目	年間総量
排出ガス総量 (m <sup>3</sup> /年)	159,300
SOx (t/年)	—
NOx (t/年)	0.03

項目	対象設備	測定値	自主基準	規制値	測定頻度
煤塵 (g/m <sup>3</sup> N)	暖房機No.1	0.01	0.3	0.3	1回/年
	暖房機No.2	0.01	0.3	0.3	1回/年
	暖房機No.3	0.01	0.3	0.3	1回/年
NOx (ppm)	暖房機No.1	86	180	180	1回/年
	暖房機No.2	97	180	180	1回/年
	暖房機No.3	83	180	180	1回/年

### ●悪臭

対象なし

### ●騒音

時間帯	測定値	自主基準	規制値	測定頻度
8:00~18:00 (db)	52.3	65.0	65.0	1回/年
6:00~8:00 (db)	46.1	65.0	65.0	1回/年
18:00~22:00 (db)	50.3	65.0	65.0	1回/年
22:00~6:00 (db)	46.0	58.0	60.0	1回/年

### ●振動

対象設備なし

### ●水質 (水質汚濁防止法、条例・協定)

項目	年間総量
排水排出総量 (t/年)	2,400.0
BOD総量 (t/年)	0.0019
COD総量 (t/年)	0.0082

項目	測定値	自主基準	規制値	測定頻度
BOD	0.7	18.0	20.0	1回/年
COD	1.0	18.0	20.0	1回/年
PH (PH)	7.0	5.8~8.6	5.8~8.6	1回/年
SS	2.2	30.0	40.0	1回/年
全クロム	—	—	—	—
銅	—	—	—	—
亜鉛	—	—	—	—
フェノール	0.5未満	2.0	5.0	3回/年
ノルマルヘキサン抽出物質	—	—	—	—
マンガン	—	—	—	—
鉄	—	—	—	—
フッ素	—	—	—	—
大腸菌群数 (個/cm <sup>3</sup> )	670	3,000	3,000	1回/年

(注)  
・直近のデータを記載しています  
・「規制値」は法または条例および協定の値を記載しています  
・「—」は規制対象外または実測値なしを、「ND」は定量下限値以下(不検出)を示します

### ●化学物質 (PRTR法第一種指定物質) (単位:kg/年)

物質名	取引量	排出量			移動量	消費量 <sup>*2</sup>
		大気	水域	下水道		
キシレン	6.0	6.0	—	—	—	—
ジクロロメタン	6,914.0	6,914.0	—	—	—	—
トルエン	8.0	8.0	—	—	—	—
フェノール	38,369.0	—	—	—	895.0	37,474.0
フタル酸ジ-n-ブチル	30.0	—	—	—	—	30.0
ホルムアルデヒド	358.0	358.0	—	—	—	—
マンガン化合物	139.0	5.0	—	—	37.0	97.0

### ジクロロメタン全廃

床パネルラインの断熱発泡剤内に含まれるジクロロメタンを2003年6月材料改良により全廃しました。



断熱材吹き付け状況

### 床パネルライン加熱炉排熱ロス削減

床パネルラインにおける加熱炉入口のブラシを耐熱ブラシに改善し、炉内からの排熱ロスを改善しました。省エネ効果としては696kWh/月削減することができました。



耐熱ブラシに改善した床パネルライン

## 本社工場

所在地:〒527-0124 滋賀県愛知郡湖東町下岸本10番地 主要生産品目:工業化住宅を構成する部材  
環境コンセプト:「琵琶湖 (Mother Lake) の存在を常に意識し、地域環境に配慮した事業活動を行います。」

### ●大気 (大気汚染防止法、条例・協定)

項目	年間総量
排出ガス総量 (m <sup>3</sup> /年)	16,434,548
SOx (t/年)	0.08072
NOx (t/年)	0.1506

項目	対象設備	測定値	自主基準	規制値	測定頻度
煤塵 (g/m <sup>3</sup> N)	乾燥炉	0.016	0.15	0.2	2回/年
	暖房機No.2	0.017	0.27	0.3	1回/年
	暖房機No.19	0.013	0.27	0.3	1回/年
SOx (K値)	乾燥炉	0.057	14.5	17.5	2回/年
	暖房機No.2	0.17	14.5	17.5	1回/年
	暖房機No.19	0.26	14.5	17.5	1回/年
NOx (ppm)	乾燥炉	21	200	230	2回/年
	暖房機No.2	55	225	250	1回/年
	暖房機No.19	59	160	180	1回/年

煤塵、硫黄酸化物、窒素酸化物は主要な3施設について記載

### ●悪臭

項目	測定値	自主基準	規制値	測定頻度
酢酸エチル (ppm)	0.016	3.0	3.0	6回/年
トルエン (ppm)	0.09	10.0	10.0	6回/年
スチレン (ppm)	ND	0.4	0.4	6回/年
キシレン (ppm)	0.04	1.0	1.0	6回/年
メチルイソブチルケトン	ND	1.0	1.0	6回/年
イソブタノール (ppm)	ND	0.9	0.9	6回/年

### ●騒音

時間帯	測定値	自主基準	規制値	測定頻度
8:00~19:00 (db)	69.5	70.0	70.0	2回/年
6:00~8:00 (db)	52.0	60.0	65.0	2回/年
19:00~23:00 (db)	65.0	70.0	70.0	2回/年
23:00~6:00 (db)	53.0	55.0	60.0	2回/年

### ●振動

時間帯	測定値	自主基準	規制値	測定頻度
8:00~19:00 (db)	45以下	65.0	70.0	2回/年
19:00~8:00 (db)	45以下	60.0	65.0	2回/年

### ●水質 (水質汚濁防止法、条例・協定)

項目	年間総量
排水排出総量 (t/年)	68,345.0
BOD総量 (t/年)	1.025
COD総量 (t/年)	0.342

項目	測定値	自主基準	規制値	測定頻度
BOD	5.0	20.0	30.0	1回/月
COD	15.0	20.0	30.0	1回/月
PH (PH)	6.9	6.2~8.3	6.0~8.5	1回/月
SS	4	50以下	70	1回/月
窒素	3.3	12以下	12以下	1回/月
リン	0.1	1.2以下	1.2以下	1回/月
全クロム	—	—	—	—
銅	—	—	—	—
亜鉛	—	—	—	—
フェノール	—	—	—	—
ノルマルヘキサン抽出物質	—	—	—	—
マンガン	—	—	—	—
鉄	—	—	—	—
フッ素	—	—	—	—
大腸菌群数 (個/cm <sup>3</sup> )	61	1,000	3,000	1回/月

24時間水質監視システムでPH、油分、流量を連続モニタリング

### ●悪臭

項目	測定値	自主基準	規制値	測定頻度
酢酸エチル (ppm)	0.016	3.0	3.0	6回/年
トルエン (ppm)	0.09	10.0	10.0	6回/年
スチレン (ppm)	ND	0.4	0.4	6回/年
キシレン (ppm)	0.04	1.0	1.0	6回/年
メチルイソブチルケトン	ND	1.		

# 社会性報告

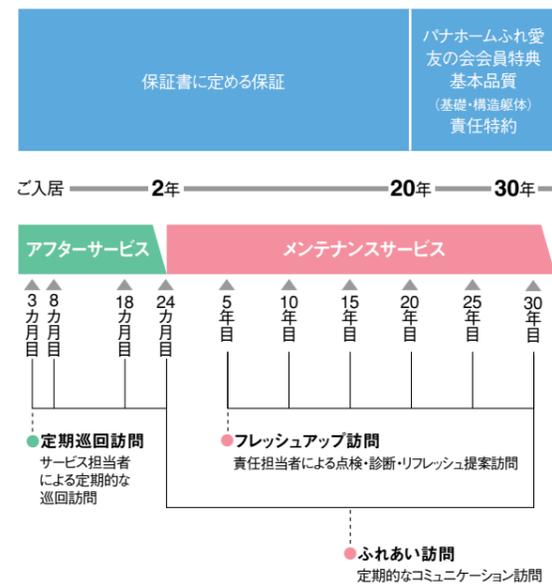
## お客さまとのかかわり

信頼される企業であるために、お客さまに「安心とご満足」をお届けすることを常に第一に、従業員一同日々考え、行動しています。

### アフターサービス

パナホームは、ご新居のお引渡し後も末長くご家族の暮らしを見守りつづけます。独自の「生涯おつきあいシステム」できめ細かなサービスをお届けするとともに、多彩な特典を設けた「パナホームふれ愛友の会」を運営。会員さまには、住まいの資産価値を末長く維持する制度や快適な暮らしをサポートする各種サービスで、生涯にわたるご満足を育んでまいります。

#### ●パナホーム生涯おつきあいシステム



### 品質の考え方

パナホームにおける品質とは「お客さまが商品に期待するハタラク、サービスおよび仕事のやり方そのものをいい、品質の総合基準はお客さまの満足度である」と考えています。すなわち、品質は経営活動そのものであり業務全般にわたって、常にお客さまの立場や視点で活動、評価、判断することとしています。

### お客さまご相談件数

商品に関するあらゆるご相談にお答えできるように、「お客さまご相談センター」および不意におこる住まいトラブルの対応のため「お客さま相談24時間365日サービス」を開設しています。2003年度は約23万件のお問い合わせをいただきました。



### パナホーム・ライフ

パナホームにお住まいのご家族にいつも新鮮な情報をお伝えるために、暮らしの夢を広げる生活情報誌「パナホーム・ライフ」を定期的にお届けしています。またお施主さま専用のホームページ「パナホーム・ライフ ON LINE」を運営し、住まいのお手入れ情報や、オンラインショッピング、ご優待サービス、お客さま同士の交流など多彩なコーナーをご用意しています。



### COLUMN 『パナホーム ガーデニング大賞』

『パナホーム ガーデニング大賞』は、建物引渡し後も、お客さまにとって生涯のパートナーとして、住まいと暮らしを見守り続け、ご家族の夢をこいっしょに育てていきたいと願う、当社のCS(顧客満足度)向上活動の一環として開催しています。

お施主さまからご自慢のガーデニングを募集する参加型のイベントとして、暮らしの楽しみを広げる提案やお客さまとのコミュニケーション向上と共に、お客さまの“エコライフ”につなげていければと考えています。



## 地域社会とのかかわり

地域に根ざしたパナホームを目指し、建設現場はもとより各事業所周辺でも地域美化に積極的に取り組んでいます。

### 工場周辺美化活動

静岡工場は「静岡National/Panasonic会クリーン作戦」に参画し、工場周辺を担当しています。また本社工場では2003年、滋賀県が運営する「淡海エコフオスター制度」に参画、工場周辺を愛情と責任を持って清掃しています。



### 建設現場周辺美化活動

建設現場は第二の工場でもあります。工事中は近隣にお住まいの方にご迷惑をおかけしないよう、騒音、振動、悪臭、粉塵の発生防止はもちろんのこと、現場環境整備、整理整頓に心がけています。また現場作業員と一緒に施工現場周辺の清掃も積極的にを行っています。



### 事務所・本社ビル周辺美化活動

事務所周辺および公共場所の清掃活動を定期的に行い、地域美化活動を積極的に展開しています。

本社ビル周辺の清掃活動は1996年から継続的に実施しています。



#### ●地域美化活動事例

清掃場所	主催
姫路駅周辺(播磨プレハブ住宅推進協会主催)	(株)パナホーム兵庫
びわ湖クリーンキャンペーン・淡海エコフオスター	本社工場
事務所・現場周辺	(株)パナホーム北関東 奈良支社・静岡工場
現場クリーンデー(職方及び社員)	福岡支社・大阪支社
静岡National/Panasonic会クリーン作戦参画	静岡工場 (株)パナホームテックオークラ

# 従業員とのかかわり

企業にとってかけがえない財産は人。「事業の根幹は人であり、企業の財産も人である」という松下グループの思想のもと、従業員がいざいごと、やりがいを持って働ける環境づくりに努めています。

## 人事制度・しくみ構築の基本方針

事業環境の変化に対応した新たな成長を遂げるためには、「お客さまから選ばれる会社になること」以外ありません。その要諦は、全社員がビジョンを共有化し、しっかりと経営環境認識を持って主体的に職務に取り組み、成果をあげることです。その過程が各人の「やりがい・生きがい」にもつながると考えます。

### ●基本方針

多様性を重視した複線型人事制度	仕事(職種)の特性やキャリア形成の領域・勤務地の範囲などにマッチした複線型の人事
全員プロ社員	全社員がプロ意識と強みを持った自律型人材となるよう人材育成の徹底
成果・実力主義	成果や実力を反映した評価・処遇

## 採用についての考え方

事業の基本となるのは「人」であり、企業の財産も「人」と考えています。求める人材像は、まず「お客さまと夢や感動を共有できる人」。そして、さまざまな環境変化に対しても自立心を持ち、自分自身の夢に向け「志」を大切にできる人です。パナホームでは、社員一人ひとりがその気持ちを大切に、プロフェッショナル志向で、お客さま一人ひとりの生涯の夢づくりのパートナーとなれるよう、あらゆる分野で取り組んでいます。

## ライフ・デザイン

従業員としてだけでなく、家族や地域社会の一員である生活者の視点から、より価値のある働き方、充実した人生を一人ひとりがデザインできるよう、パナホーム労働組合では、年代別のライフプランセミナーを開催。生涯生活設計を作成する上で必要となる生命保険、年金制度の基礎知識の習得や個人の経済設計シミュレーション等を実施しています。

## COLUMN 地球を救うCOCOちゃん運動

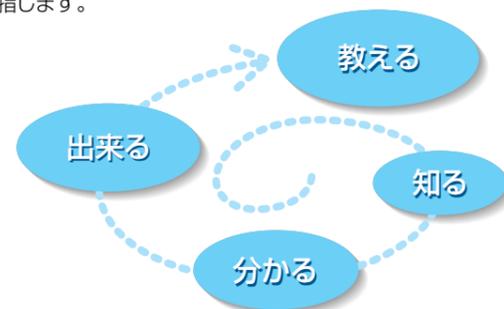
パナホーム労働組合は、電機連合のCO<sub>2</sub>排出削減への取り組み「地球を救うCOCOちゃん運動」に参加しています。この運動は、家庭で消費される電力の使用量を前年と比較評価し、節約することで、CO<sub>2</sub>排出量を削減し、地球温暖化防止を目指す取り組みです。従業員とその家族に、地球温暖化問題の深刻さと日常生活でもエコライフに取り組むことの重要性を伝えています。



## 能力開発・人材育成に関する基本的な考え方

「能力開発・人材育成は現場での仕事を通じたOJTが基本である」という考え方のもと、

「学習」「体感」「体得」「行動」の育成プログラムにより、「知る」⇒「分かる」⇒「出来る」⇒「教える」の各ステップを「W・OJT\*」にて着実に習得します。それぞれの段階に合ったトレーニングを積み重ねるスパイラルアップによって、より高い実力を養っていきます。常に問題意識や目標を持って新しい知識や技能を身につけ、また各自の「やりがい・生きがい」をも大きく育むことを目指します。



\*W・OJTとは、「OJT」と「OffJT」の双方を指します。一般的に「OJT」「OffJT」は次のように解釈されています。OJT (on-the-job-training)とは、職場訓練のことで、日常業務を通じて部下・後輩社員を訓練することを言います。OffJT (off-the-job-training)とは、職場外訓練のことで、日常業務を離れて実施する研修のことを言います。



人材開発画面

### ●パナホームグループ人材開発研修制度

研修名	研修数	主な研修
導入研修	17種	松下の精神とビジネスマナーの習得、CSの重要性の体得研修等
階層研修	6種	部下育成の基本とスキルアップ研修、リーダー問題解決能力の研修等
営業系研修	13種	戸建営業担当基礎知識の習得、資金税務知識の向上等
技術系研修	15種	設計、建設管理知識の習得、補修リフォーム技能研修等
業務系研修	2種	経理業務のスキルアップ等

## 公的資格取得奨励祝金制度

私たちが目指すのは、お客さまから信頼される「社員一人ひとりが高いスキルと情熱(やる気)を持ったプロフェッショナル集団」です。そこでパナホームでは、「資格取得宣言」を実施し、取得したという成果に対するお祝い金(対象資格別定額方式)を支給する制度で、社員の公的資格の自発的な取得促進を積極的に推進しています。

## 環境・安全教育

地球温暖化や産業廃棄物などの地球環境問題や有害化学物質削減などのエコライフ住宅思想を社員に徹底するため、「エコライフ住宅コンセプトブック」を全社員に配布し周知徹底を行いました。

また、環境意識の向上を図るため、新入社員導入研修や工場などの内部監査員研修、廃棄物処理法の勉強会などを実施しています。

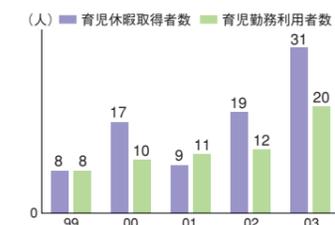


エコライフ住宅コンセプトブック

## 育児休暇制度

子供を持つ人が働き続けることができるよう、従業員の仕事と家庭の両立を支援するため、さまざまな基準や経済的支援を整備しており、育児休業期間を延長するなど法律の基準を上回るものもあります。

### ●育児休暇取得状況



### ●制度一覧

出産するまでの制度	補食時間、検診不就業、妊産婦障害休暇・就業制限、通勤混雑緩和、短時間勤務
出産後の制度	出産休暇・配偶者出産時における正社員(男性)の休暇、育児休業、ならし保育のための育児休業の延長、育児時間
子1歳～子3歳到達直後の3月まで	保育施設費用補助制度
子1歳～子7歳到達直後の3月まで	育児勤務制度(6時間もしくは7時間の短時間勤務制度)
子1歳～小学校3年生まで	在宅保育(ベビーシッター)サービス割引制度(組合)

## 育児休暇取得者の声



経営システム部 好岡 裕子

私は2003年3月から約1年間育児休暇を取得しました。そして現在は元の職場に復帰し、育児勤務制度を利用しています。復帰後は勤務時間が短いことや、子供の急な発熱などで、職場の人達に迷惑をかけることが多々ありますが、皆さんに理解し協力していただいているおかげで働きやすいと感じています。家庭においては子供と接する時間が少しでも多く取れ、非常にありがたいと思います。この春からは利用できる期間が長くなるなど、より良く改善されました。今後も、ますます充実した制度となるよう期待しています。

## 健康維持増進のために

従業員一人ひとりの健康づくりを支援するため、松下グループでは、会社・労働組合・健保が三位一体となり、「生活習慣病」「喫煙」「メンタルヘルス」の3分野において、健康づくり運動「健康松下21」を推進しています。責任者や安全衛生委員に対する「メンタルヘルス講習会」をはじめ、生活習慣病、喫煙についての情報を絶えず発信しつづけ意識改革を実施しております。

また2004年に入り、各自の生活習慣を見直し健康づくりへの意識を高めるため「生活習慣改善マラソン」を実施し、より積極的な健康維持増進に取り組んでいます。



メンタルヘルス講習会

## セクハラ苦情・相談窓口の設置

個人の意識差やコミュニケーション不足により名誉や人格を傷つけられたりすることがあるかもしれません。パナホームでは各拠点に「セクハラ苦情・相談窓口」を設置。セクハラなど職場での人権侵害のおそれのあるものについて、電話やメールを通じて相談できる環境を構築しています。



社内イントラホームページ

## バリアフリー対策・障害者の働きやすさ配慮

年齢や障害の有無を越えて、誰にとってもくらしやすい社会を目指す取り組み「ユニバーサルデザイン」は、住まいづくりにおいては今や前提となる考え方です。パナホームでは、本社ビルにおいてもすべての来訪者を支障なくお迎えできるよう、玄関・エレベーターなど随所に車椅子での移動に配慮したバリアフリー設計を施しています。これは、当社で活躍する障害を持った社員にとっても、働きやすさの重要なポイントとなっています。



バリアフリーエレベーター



バリアフリー玄関

# 社会貢献活動

長く住み続けてくださるお客さま、事業所や施工現場近辺に住まれる地域住民といったステークホルダーの方々に「安心」と「信頼」という強い絆を築いていけるように努力します。

## 環境への取り組み

当社では現場から回収した残材で作成したリサイクル家具などを地域イベントに寄贈しています。2003年度は筑波工場と茨城支社が「やわら祭り」に参加。木材リサイクルコーナーを設け、工場から出る木の端材を利用した木工教室を行い地域の方と交流を図りました。また埼玉支社では地域の小学生を対象に夏休み親子工作教室を実施。子供たちは本立てを作りながら、木とのふれあいを楽しみました。



筑波工場と茨城支社が参加した谷和原村の「やわら祭り」



埼玉支社 親子工作教室



埼玉支社 リサイクル市

### ●環境への取り組み事例

内容	主催
廃材を利用した木工教室の開催	茨城支社
地域祭「やわら祭り」にてリサイクルコーナー設置	筑波工場・茨城支社
小学生を対象に夏休み親子工作教室	埼玉支社
リサイクル市	埼玉支社

## 地域社会とのコミュニケーション

地域とのふれあいの場として、(株)パナホーム兵庫では所在地の三左衛門西堀の町にちなんで「三左衛門バザール」と名づけ駐車場を開放し、月1回バザールを開催。一般公募でブースを利用していただくとともに、本社ビル1Fギャラリーでは「子供の絵画展」を協賛し地域の皆さまとのコミュニケーションを図っています。また、同社では「姫路チビコミニサッカー大会」を開催、明るく健やかにくらす健康都市の実現に向け積極的な活動を展開しています。

埼玉支社ではさいたま市を中心として活動されているママさんバレーの大会を主催、16チーム258名が参加しました。



(株)パナホーム兵庫 三左衛門バザール



(株)パナホーム兵庫 姫路チビコミニサッカー大会



埼玉支社 ママさんバレー大会

### ●地域社会への貢献事例

内容	主催
近隣小・中学校へ学生新聞寄贈	奈良支社
「子供の絵画展」協賛・姫路チビコミニサッカー大会協賛	(株)パナホーム兵庫
さいたま市ママさんバレー主催	埼玉支社

## チャリティー

全国の事業場において募金や使用済み切手・カード類を集めてチャリティー活動を行っています。(社)国土緑化推進機構の「森と水の森林基金」に参加し、お客さまにご入会いただいている「パナホームカード」の初年度会費相当額を寄付しています。岡山支社では、「ふれ愛感謝祭」のイベントを通じ、売上金の一部をNGO国際医療ボランティア組織AMDAに寄付しています。



使用済みカード類を各事業場にて回収



岡山支社、国際医療ボランティア組織AMDAに寄付

### ●チャリティー事例

寄贈先	主催	寄付額
(社)国土緑化推進機構 (社)日本キリスト教海外医療協力会	パナホーム(株)	1,880,132円
(財)ユニセフ (財)緑の地球防衛基金 (社)日本ユネスコ協会連盟	パナホーム労働組合	古切手 6,477枚 磁気カード 13,373枚 書損じはがき 135枚 外国コイン 8枚
(財)ひょうご子ども家庭福祉財団 (財)姫路市緑化協会	(株)パナホーム兵庫	
NGO国際医療ボランティア“AMDA”	岡山支社	
埼玉県上尾市障害福祉課	埼玉支社	

## 環境コミュニケーション

当社では2001年度より環境報告書を発行しています。また、ホームページでも環境活動についての情報を公開しています。



### ●環境報告書発行

2001年度	3,000部
2002年度	5,000部
2003年度	7,000部

\*環境保全活動ホームページ  
www.panahome.jp/environment

## 社員の声



筑波工場 総務人事  
杉原 正晃(左)、菊池 操(右)

### 「やわら祭り」に参加して

筑波工場では毎年文化の日に地元の「やわら祭り」に茨城支社と参加し、住宅相談コーナーと木工教室を開いています。木工教室では工場から出る木の端材をリサイクルし、地域の子供たちとプランターや椅子作りを通じ、交流を図っています。毎年楽しみにいただいているファンの方も増え、私たちスタッフもとてもやりがいを感じています。



埼玉支社 建設センター所長  
小谷野 勝衛

### 「上尾元気アップフェスタ」に参加して

業者会による地域貢献活動のひとつとして、心身障害者地域ケア施設長から依頼のあった「上尾元気アップフェスタ」(障害者の手作り品販売)に当社も参加しました。現場での廃材や残材をリサイクルして出品販売し、売上をすべて寄付しました。今後も埼玉支社として地域貢献・環境保全活動に積極的に取り組んでいきます。

## COLUMN 「びわこ地球市民の森づくり」に参画

(株)パナホーム滋賀では、母なる湖・琵琶湖を中心とした滋賀県の自然を大切に守っていかなければならない使命があります。そこで、滋賀県が取り組んでいる「びわこ地球市民の森づくり」に賛同し、エコライフ基金を創設しました。この基金は、ご契約いただいたお客さまやパナホームに携わる皆さまが環境を大切にすることを目的とし、滋賀県に豊かな森を育て次世代に贈るために、苗木を植えることを目的としたものです。

2003年度は社員135名で合計660本の苗木を植え、2004年4月には新たに賛同いただいたお客さま70家族で350本の苗木を植樹しました。

\*びわこ地球市民の森づくり  
滋賀県・野洲川の廃川敷を利用し、総面積412.5ヘクタール(甲子園球場10個分)の大きな森を未来の子供たちに贈ろうと県が呼びかけている植樹運動



植樹風景

## 編集後記

2003年、パナホームは「エコライフ住宅宣言」をし、人と地球にやさしい事業活動を追求しました。社員一人ひとりの環境への思いや業務遂行での苦労話などを伝えることが企業の社会的責任のスタートではないかと考え「エコライフ住宅」に関わる人々を集めました。今後は企業理念に基づく経済的・社会的・環境的活動をグローバルに評価していただけるよう努力して参ります。皆さまのご意見・ご感想、お気づきの点などを添付のアンケートにご記入の上、弊社までお送りいただければ幸いです。

2004年6月発行

発行責任者: 経営システム部長 中村 裕  
制作協力: 株式会社クレアン